

設 立 50 周 年 記 念 誌

みちのり

2006

八日市商工会議所



設 立 50 周 年 記 念 誌

みちのり

2006

八日市商工会議所

近江鉄道

新旧八日市駅舎





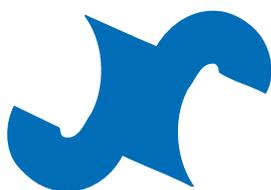
平成10年3月頃の旧駅舎



現在の駅舎



八日市商工会議所会館



商工会議所のマークは CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY の三つの頭文字を組合わせたものです。CHAMBER は会議所、COMMERCE は商業、INDUSTRY は工業のことです。

意匠は JAPAN の頭文字 J も含ませ、なお、おおとりが翼を宙天の雲のごとく拡げて9万里の上空を飛ぶ様子も表現しています。

すなわち日本の商工会議所が世界に飛躍していることを示し全国各地の商工会議所はこのマークで統一されています。

目 次

■	ごあいさつ 八日市商工会議所 会頭 今宿市郎	6
■	祝辞	7
	滋賀県知事 國松善次	7
	東近江市長 中村功一	8
	日本商工会議所会頭 山口信夫	9
■	八日市の歴史	10
	●古き時代の八日市	10
	●大正時代の八日市	10
	●商店街 町並みの移り変わり	11
	●“市”のまち八日市	13
	●まちの今昔	14
■	八日市の概要	15
	●人口、世帯数の推移	15
	●商業	16
	●工業	17
■	TMO(中心市街地活性化)事業	19
	●本町商店街	19
	●八日市駅前土地区画整理事業	20
	●八日市大通り商店街 風物時代館「太子ホール」	21
■	八日市の名所 社寺、街、憩	22
■	八日市のまつり 春夏秋冬	26
■	八日市の特産品	30
■	歴代会頭	32
■	役員紹介	34
■	時代にみる八日市商工会議所50年のあゆみ	40
■	50周年記念事業	66
	●記念式典、記念事業	66
	●50周年記念座談会～歴史から学ぶ商工会議所の未来・これからのまちづくり～	70
■	歴代役員議員	80
■	商工会議所の組織	89
	●事業案内	90
	●会館案内	94
■	会員名簿	95
■	あとがき	127

ごあいさつ



八日市商工会議所会頭

今宿 市郎

八日市商工会議所は、昭和31年3月15日、八百余名の賛同のもと設立されました。そしてここに半世紀の歴史が流れました。今日まで商工会議所の諸活動を支援し、ご協力いただきました多くの皆様に心から御礼と深甚なる敬意を表したいと存じます。

昭和43年、会員の強い願望のもと、新しく八日市商工会議所会館が八日市駅前通りに完成し、地域商工業発展の基盤が造成、強化されたのであります。折りしも周辺市町の発展も目覚しく、全国的な都市化の波は人口移動と一極集中、画一的なまちづくりが進行し、ここに「地方の時代」というまちづくりのキーワードが生まれてくることになりました。我が八日市のまちも例外ではなく、大手企業の進出、宅地開発の進行、大型小売店の出店など変わり行くまちの姿から、将来を見据えたまちづくりの計画「豊かな八日市への構想」が芽生えることになりました。

そして八日市は全国のモデルともなった土地区画整理事業による「行政ニュータウン」が完成し、新しいまちの核が出現したのであります。一方、大型店の出店や、官公庁の移転により中心市街地の商店街などは歴史的転換期を迎えることになりました。

昭和60年に始まった区画整理事業、商業施設集積事業、高度化事業を組み合わせた三位一体の事業は全国でも珍しく、特定商業集積法を活用して、新しいまちづくりの拠点施設として八日市駅前地域が誕生しました。夢のような、そして困難を伴うまちづくりも夢を叶えようとする行政、住民そして関係機関の強い意志の結晶がまちのかたちを新しいものにつくりかえて行く、八日市は、進取の気概に富んだ心意気を今も持ち続けていることを私達は大きな誇りと思っています。

このように半世紀に亘り、みんなの努力によって形づくられてきた八日市も更なる発展を期して、昨年2月そして本年1月の合併により人口11万8千人を擁する東近江市として新たにスタートし、新しいまちづくりが始められることになりました。今までもまたこれからも「まち」を支える大きな柱は商工業のいきいきとした活動にこそあると思います。八日市のまちづくりと共に歩んできた商工会議所も50年の歴史を礎として東近江市の商工業の更なる発展を目指して会員をはじめ、役員、議員が協力し中心的な役割を果たしていく決意であります。

ここに50年の歴史をふりかえり、多くの出来事を記録にとどめるとともに「歴史から学ぶ八日市商工会議所の未来」に夢を托して、記念誌を発刊することにいたしました。本誌が地域商工業発展の一助になることを期待いたしますとともに、発刊に伴い、ご協力をいただきました方々に御礼を申し上げます。

皆様の愈々のご発展をご祈念申し上げます。

祝 辞

滋賀県知事

國松 善次



八日市商工会議所が創立50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。貴会議所には、昭和31年の設立以来半世紀の長きにわたり、地域の総合経済団体として、中小企業の経営指導はもとより、まちづくりや地域商工業の振興に多大なご貢献をいただいております。これもひとえに、歴代会頭をはじめとする役員や会員の皆様方の熱意と不断のご努力の賜であり、深く敬意と感謝の意を表します。

50年を振り返りますと、わが国経済は高度成長期から安定成長期に移り変わっていく中で、オイルショック、円高不況、バブル経済の崩壊等幾多の試練を克服してまいりました。しかしながら、近年は国際化の進展に伴う競争の激化や長期にわたるデフレ経済等、厳しい環境となっています。さらに今後少子高齢化の本格化による労働市場や消費スタイルの急速な変化が必至であるなど、中小企業もこれまでにない対応を迫られています。こうした時期にこそ商工会議所の皆様に対する期待や果たされるべき役割は、ますます大きなものがあるかと存じます。

このような状況の下、八日市商工会議所においては、「行動する、信頼される、地域と共に歩む商工会議所」活動により事業所の訪問を継続して実施され、また、中心市街地の賑わいを取り戻すため、平成14年より中心市街地活性化事業を実施し、商店街の環境を改善する事業や文化交流施設を整備されたところです。このように積極的な事業展開によって、魅力ある地域経済社会の活性化を図られ、その成果が大いに期待されているところでございます。

県といたしましても、社会経済環境の変化に柔軟に対応できる自立・発展が可能な産業の振興を図ることこそ、滋賀県全体の基盤強化につながるとの認識に立ち、本県が有するポテンシャルを生かした新規成長産業の育成や振興を図るなど「元気な滋賀の経済基盤づくり」のための施策を展開していますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

結びに、八日市商工会議所ならびに会員の皆様におかれましては、この創立50周年を新たな契機とし、より一層ご発展されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



東近江市長

中村 功一

八日市商工会議所が設立されて50周年を迎えられますことを、心よりお祝い申し上げます。

顧みますと昭和29年8月に市制を施行した八日市市と歩調を合わせるように、昭和31年3月に八日市商工会議所が設立され、以来今日に至るまで二度にわたるオイルショックやバブル期など日本経済の浮沈の中で八日市市の進むべき道を踏み誤ることなく自治できましたことは、ひとえに八日市商工会議所歴代の会頭や役員をはじめ会員の皆様に八日市の地域経済を支えていただきましたことによるものであり、心よりお礼申し上げます。

バブル崩壊後、国は国庫補助金や地方交付税の削減、地方への税源移譲等いわゆる三位一体の改革を推し進めることとなり、地方自治体は国の財政的支援に依存しない自立しうる自治体の創造が求められております。

こうした中、二度の合併によって誕生した東近江市は人口11万8千人、面積383km²の県下有数の都市となりました。

この愛知川と日野川に育まれた東近江市は、肥沃な農地が広がる穀倉地帯にあって、多くの企業や事業所が立地する産業のまち、古くから市がたつ商業のまち、歴史文化資源を活用した観光のまちとして、商・工・農・観光などの産業がバランスよく立地するまちです。しかし、長引く経済の低迷のなかで、各産業ともこれまでの枠組みやシステムを再構築することが求められているのではないのでしょうか。

今こそ、50年という長きにわたる地域経済界の情報と人脈を蓄積した八日市商工会議所が地域経済の牽引者となり、東近江市の中心市街地である八日市の活性化はもとより、市域の経済団体等と連携し活力ある地域産業の振興を図るべくお力添え下さいますようお願い申し上げます。

最後に、設立50年という節目を1つの契機として八日市商工会議所が今後ますます発展されますとともに、会員の皆様のご繁栄、またこの記念誌が本市商工業の振興に活用されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

日本商工会議所会頭
山口 信夫



八日市商工会議所が創立50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

八日市商工会議所は、昭和31年の創立以来、常に地域経済社会のリーダーとして、様々な事業に積極的に取り組まれ、地域産業の育成・振興ならびに市民生活の向上のために大きな役割を果たして来られました。これも偏に、歴代の会頭をはじめ役員、議員、会員ならびに職員の皆様方の、地域の発展に向けた強い熱意とご尽力の賜物と、深く敬意を表する次第であります。

昨今のわが国経済は、全体としては拡大基調を維持しておりますが、長期にわたったデフレの影響等により未だ先行き不透明感が拭えず、地域経済や中小企業があまねく景気回復を実感できる状況ではありません。一方で、わが国は、人口減少・高齢化の加速、グローバル化の進展と新興諸国の激しい追い上げなど、社会・経済の両面においてかつてない大きな構造変化に直面しています。

私は、それぞれの地域が様々な困難や課題を乗り越え元気になり、希望に満ちた日本をつくること、すなわち「健康な日本の創造」を提唱し、その実現に向けて取組んでまいりました。大切なことは、大企業はもとより、全国の企業数の99.7%、雇用者数の7割を占め、個人消費の6割近くを担う中小企業の健全な発展なくして、わが国経済の自立的な成長と社会の発展はないということです。厳しい環境下ではありますが自助自立の精神のもと、中小企業の持つダイナミズムとバイタリティーが存分に発揮されれば、「健康な日本」の実現は必ずや可能であると確信しております。

申しあげるまでもなく、商工会議所の重要な使命は、会員である商工業者の方々の意見や要望を議会や行政庁に訴え、その実現を図ることであり、それと同時に多様化する会員ニーズに応える事業活動を積極的に展開し、活気あふれる地域社会を築いていくことでもあります。商工会議所は、こうした使命を全うすることにより、会員をはじめとする企業や社会から真に必要とされ、また、地域社会の発展に貢献する地域経済団体たり得るものと考えます。

八日市商工会議所におかれましては、この記念すべき年を新たな出発点として、今宿会頭を中心に更に結束を強化され、豊かで活力ある地域経済社会の実現に向けて、なお一層ご尽力賜りますよう心からご期待申し上げます。

古き時代の八日市

明治中期になって交通機関の開発が行われました。八日市を通る道は御代参街道、八風街道のほか八日市道、八日市停車場道、八日市警察署道、八日市御園線、旭八日市線、八日市百済寺道などが当時早く改修され、八日市への周辺農村からの道でありました。明治22年（1889）に東海道線ができた登川駅へ汽車を八日市から見にいった話が伝えられています。東海道線は彦根から八幡へ行き、八日市は通らなかったため、近江鉄道が設立されました。明治29年（1896）に会社が設立されて工事がはじめられ、八日市・彦根間の19.5kmが開通しました。八日市駅は明治32年（1899）にできました。



古き時代の八日市駅（出征兵士）

大正時代の八日市

明治末期に八日市実業聯合会が組織されて、商工業の発達計画されたが、大正時代に至ると、八日市飛行場ができて、急速に発展しました。大正11年（1922）3月に発行された奥井清弘著『八日市と飛行場』によって、概略を知ることができます。八日市飛行場を設立したのは民間飛行家の荻田常三郎・熊木九兵衛・横畑耕夫・フランク・チャンピオンらで、沖野が原に15万坪の土地を買って、翦風飛行学校の設立に努力したが、大正4年（1915）荻田常三郎が突然の事故にあって死亡したため、滋賀県飛行会を結成し、八日市飛行場の設立に尽力し、やっと飛行第三大隊が実現しました。



飛行第三聯隊営門



商店街 町並みの移り変わり

戦後統制・切符制が解除され、一般の消費力が増大するにつれて、八日市の小売商業も復興しはじめ、往時の繁栄を取り戻しました。本町通り、金屋を中心として店舗が整備され、商店街としての活況を取り戻しました。そこには商品の買い出し、選択などに意欲的な八日市商人の努力とそれらを育んだ八日市の市場町としての伝統性を感じることができます。



筏川(昭和初期)現大通り商店街

県営で行われた筏川覆蓋工事は昭和9年1月9日より着工されました。筏川に接する金屋市場は工事のため歴史的な市場屋形が取り払われたが工事竣工後は形態を変えてモダンな移動式屋形で復活されました。幅六間ないしは八間の道路が誕生し、金屋通りは様相を一変しました。

大正時代の南町



大正時代の大通り



大正時代の本町通り



昭和30年頃の
本町通り商店街



昭和46年の南町商店街



昭和31年の栄町商店街

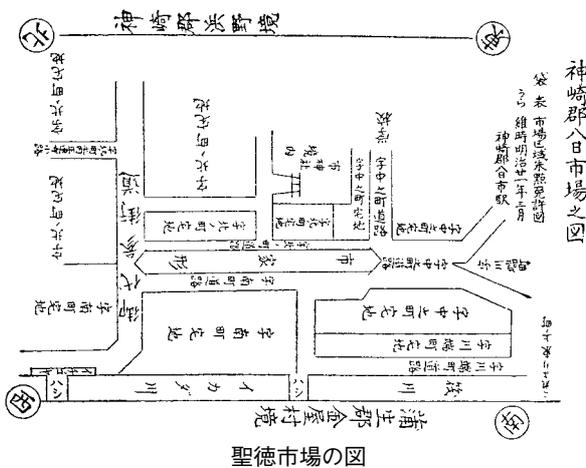


昭和46年の本町商店街

“市”のまち八日市

御代参街道から、東へ向かって（現、ときわ通り商店街付近）市屋形があり、筏川沿い（現、金屋大通り）とともに市場の中心地をなしていました。明治4年（1871）5月18日の大火事（八日市焼け）で、八日市村のほとんどと浜野村の半分が焼失しましたが、市場のにぎわいは消えなかったといわれています。

明治のはじめもこのころは、毎月2と8の日が八日市村の市の日でありました。



大正時代の八日市市場



大正末年から昭和初期にかけての市場風景であります。写真は現在の金屋大通りと思われませんが、右手に市屋形が立ち並び、雨戸をつりあげて作った屋根の下に商品が並べられています。市屋形の裏手に筏川が流れていました。

昔

今



本町商店街は、アーケードと石畳舗装が完成し、新しい商店街に生まれかわりました。



八日市駅前通り



古くから市場として栄えた大通り商店街

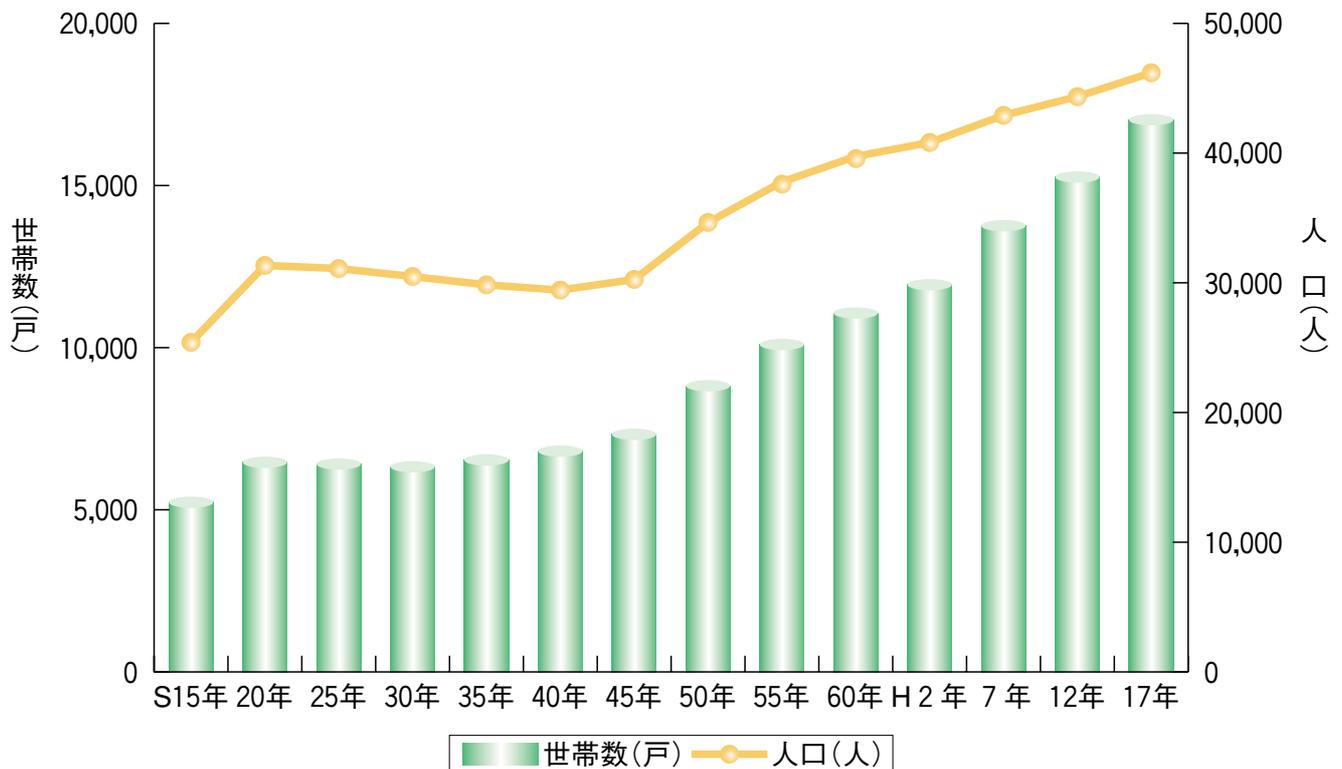


中央商店街

人口、世帯数

年	人口(人)	世帯数(戸)
昭和15年	25,412	5,233
20年	31,341	6,466
25年	31,100	6,411
30年	30,486	6,326
35年	29,844	6,534
40年	29,437	6,808
45年	30,261	7,327
50年	34,653	8,826
55年	37,776	10,098
60年	39,744	11,068
平成 2年	40,816	11,942
7年	42,909	13,761
12年	44,351	15,262
17年	46,192	17,026

●人口、世帯数の推移



商 業

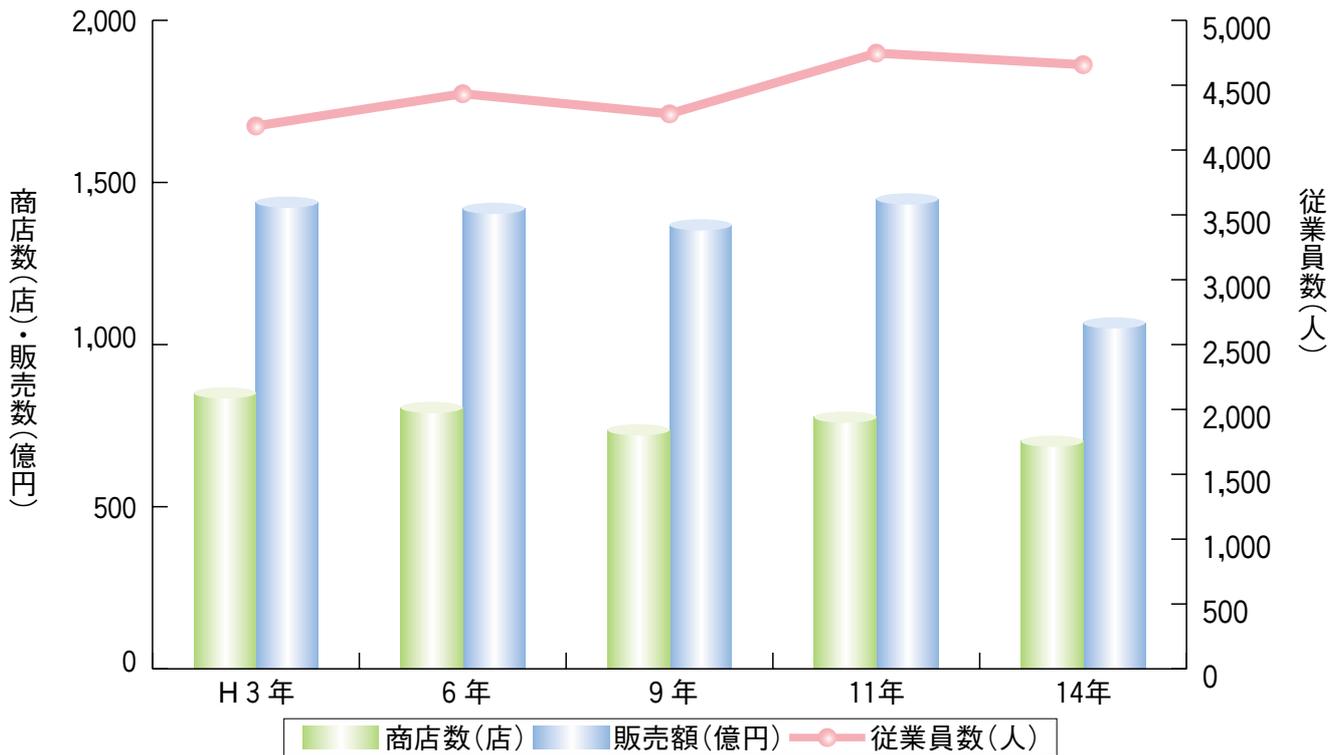


ショッピングプラザ・アピア

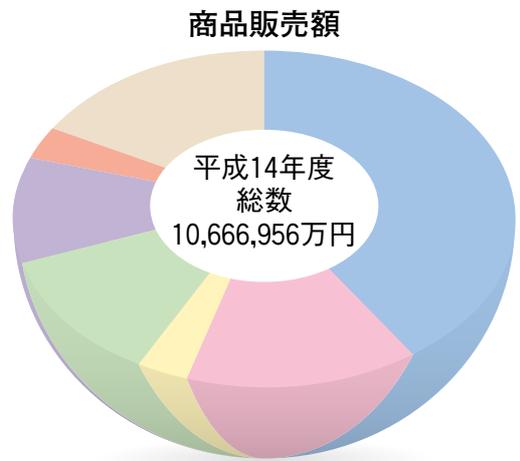
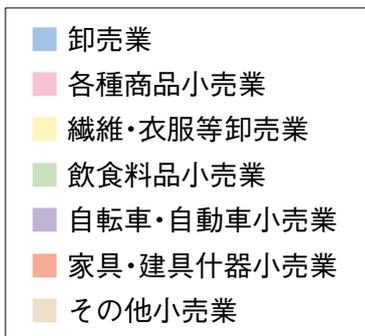
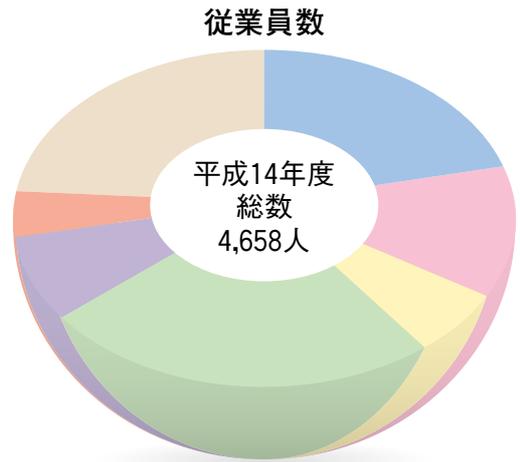
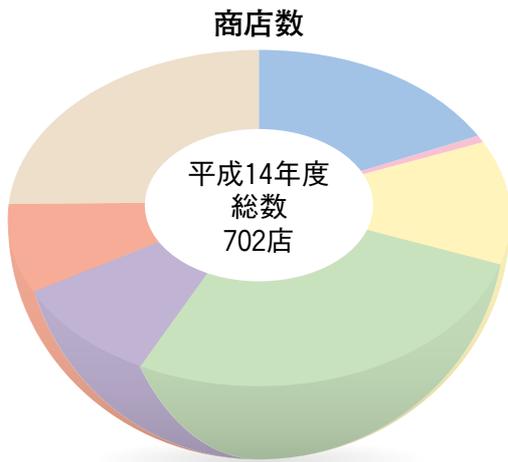


みどりまち商店街

●商店数・従業員数・年間商品販売額の推移



● 商店数・従業員数・商品販売額の業種別構成比

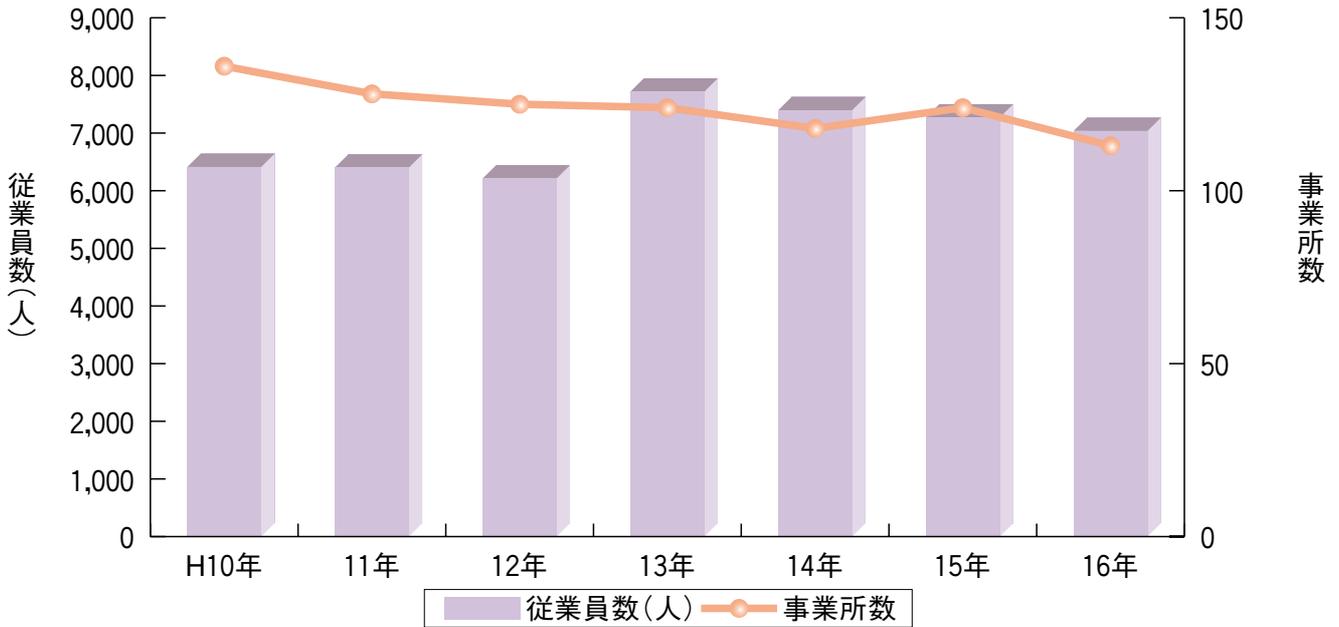


工 業



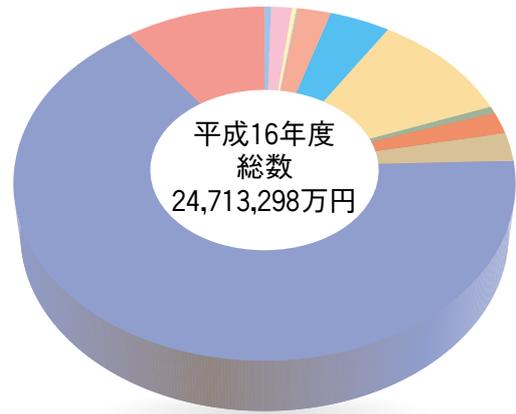
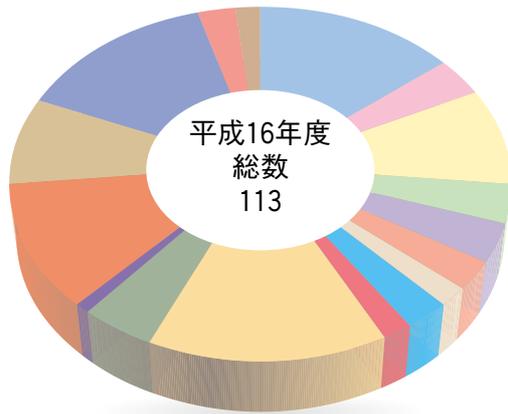
大型ポンプ製造現場

● 事業所数及び従業員数の推移



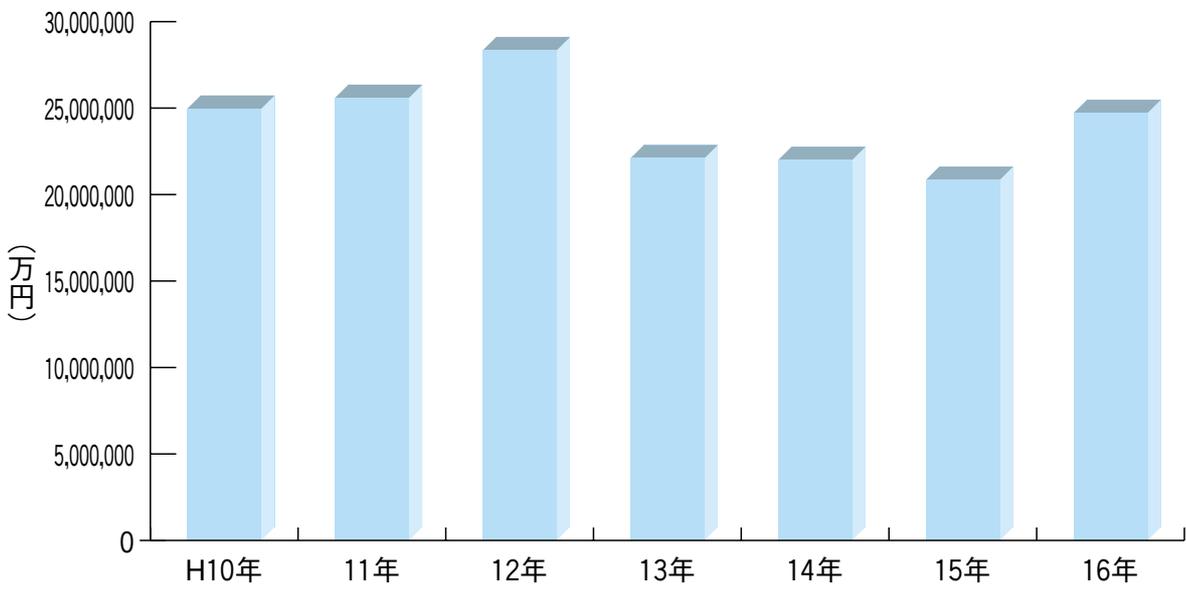
● 業種別事業所の構成比

● 業種別製品出荷額の構成比



● 食料品・飲料	● 繊維工業	● 衣服・その他繊維製品	● 木材・木製品	● 家具・装備品	● パルプ・紙・紙加工品
● 出版・印刷・同関連産業	● 化学工業	● 石油・石炭製品	● プラスチック製品	● ゴム・皮革製品	● 窯業・土石製品
● 鉄鋼業	● 非鉄金属	● 金属製品	● 一般機械器具	● 電気機械器具	● 輸送用機械器具
				● 精密機械器具	● その他

● 製造品出荷額の推移



アーケード改修・石畳舗装整備



本町商店街 ●

本町商店街は、平成14年度にアーケード改修工事、15年度には石畳舗装整備を実施しました。

この事業は、平成13年度に策定した中小小売商業高度化事業計画（TMO計画）に基づく、中心市街地等商店街・商業集積活性化施設整備事業により、国・県・市の補助を受けて実施したものです。

本町商店街は、「御代参街道」「市」といった歴史的背景をイメージさせるキーワードをもとに、商店街の歴史性を重視した、街道文化並びに市にふさわしい景観整備とし、歴史のある雰囲気醸し出しながら、ここを訪れる人たちが買い物や、散策を楽しめる商店街を目指し、「街道ロマン八日市“御代参街道”」をテーマに、アーケード、石畳舗装を整備しました。明るく快適な歩行者空間となり、本町商店街のイメージが一新しました。

生まれ変わった八日市の駅前



大型商業施設「ショッピングプラザ・アピア」



駅前広場とピアシティ



ヨーロッパ調をイメージした「ピアシティ」

八日市駅前土地区画整理事業 ●

平成5年3月、八日市市は、「特定商業集積整備法」に基づく街づくりビジョン「八日市市特定商業集積整備基本構想」を策定し、高度商業集積型と地域商業活性化型の2タイプの事業を同時に進めました。高度商業集積型では、大型商業施設に店舗を設ける予定の専門店主で構成する組合と第3セクターが事業主体となり、地上6階建、延床面積65,277㎡の大型商業施設を建設しました。

また、地域商業活性化型では、個々の店舗主が加盟する八日市駅前近代化協同組合が事業主体となり、統一された町並を創出しようと「八日市駅前街づくり憲章」を定めました。建物の形態は勾配屋根のある3層3階建てに統一し、さらに建物をセットバックして、一時駐車場を確保したほか、電柱を撤去してレトロ調の街路灯を設置するなど、駅前地区の商店街は、ヨーロッパ調の新しい町並の景観を醸し出すことができました。

八日市駅前地区は、面的整備手法である土地区画整理事業と商業の活性化を目指した特定商業集積の双方を組み合わせたことによって、本市の玄関口を新しい町並みに変身させるとともに、同地区の取り組みは、国のモデル事業となり、後に制定された中心市街地活性化法草案に大きく貢献することになりました。

まちの活性化に新たな起爆剤 大通り商店街風物時代館「太子ホール」



八日市大通り商店街 ●

風物時代館は、市の「中心市街地商業等活性化基本計画」と八日市商工会議所の「中小小売商業高度化事業構想」に基づき、国・県・市の支援を受け、八日市大通り商店街駐車場 敷地面積914㎡に建築面積295㎡の鉄骨平屋建で、平成16年9月に工事着工し、翌年1月中旬に完成しました。総工費は、約6,500万円、国・県がそれぞれ3分の1、市が4分の1を補助しました。

この施設は、八日市大通り商店街振興組合が、これからの商店街とまちの振興をかけて、新しい歴史を拓く（市）づくりをまちづくりのキャッチフレーズとして、高齢者にやさしいまちづくりを目指して取り組んできたものであります。

内部は、全体がホールになっており、正面にステージ、両側には展示ケースがあり、各種イベントや展示に使うことができます。

また、玄関前に八日市市ゆかりの「聖徳太子幼少の像」も建立し、これをシンボルとしたまちづくり、まちの賑わいを目指します。

今後まちづくりを考える「拠点」として、広報活動、落語、コンサート等のイベント活動により、来街者にメッセージを送る「情報活動基地」として実施します。

社寺



た ろう ほう ぐう あ が じん じゃ 太郎坊宮 (阿賀神社)

標高350mの巨岩が露出した赤神山の中腹にある通称『太郎坊宮』は、『太郎坊さん』の名で親しまれています。

『太郎坊』とは京都鞍馬の次郎坊天狗の兄天狗でこの社を守護していると言われています。約1400年前の開基と伝えられ、天照皇大神の御子、正哉吾勝勝速日天忍穗耳尊を祀り、その名前から勝運授福の神として崇められ、厄除け・開運・商売繁盛にもご利益があるとされています。また、毎年12月に行われるお火焚大祭は、行われる祭事の中でも最大の祭で、全国から集まった約100人の修験者達が山伏問答や法弓、法剣の儀、火渡りの儀などが行われ、約30万体の護摩木を焚き上げる様子は圧巻です。

お さわ じん じゃ 御沢神社

聖徳太子が蘇我馬子に命じて神社を創建したのが始まりと言われている。境内の「白水池」はいかなる時も枯れることなく、水田を潤してきたと伝えられています。水は現在も近江の名水として有名です。



かわら や じ たけ べ かわら や じ 瓦屋寺 (建部瓦屋寺)

寺名は聖徳太子が四天王寺創建の際、当地で瓦を造ったことに由来し、その瓦を管理するために建立したと伝えられています。荘厳な建築の本堂には、国の重要文化財に指定されている千手観音立像が安置されており、33年に1回公開されます。

街

文化交流施設
ふうぶつじだい かん
風物時代館
たいし
太子ホール

地域のだれもが気軽に集まり、まちづくりを考える拠点として、広報活動、コンサート等の活動によりメッセージを送る「情報活動基地」の役割を担っています。



世界凧博物館
ようかいち おおだこかい かん
八日市大凧会館

館内1階には吹き抜けの100畳敷の大凧をはじめ、歴代の凧を随時展示している。また映像やパネルで歴史や凧のしくみ、飛揚シーンを見ることができる。2階には、世界36カ国の凧が並べられており、昇竜を思わせる中国の龍凧、骨のないイギリスのレッグスカイトなど、凧を鑑賞しながらその国の文化も知ることができます。また本館に隣接する別館には100畳敷大凧を製作できるスペースがあり、凧作りはもちろん様々な研修や会議に利用できます。

まちかど博物館
はくぶつ かん
ひょうたん博物館

市民のコレクションや古い道具・資料などを展示・公開する博物館のひとつとして作られました。館内には、1000点を超す瓢箪が展示されており、長いものは1m以上あるものや、工芸的な美術品など様々なコレクションがあります。



レンガのえんとつとまれ

赤レンガの煙突がシンボルの多目的交流施設です。地域住民が生き生きと快適に暮らしていくために作られました。施設内は様々なイベントが開かれるホールをはじめ、オーガニックコーヒーと手作りケーキが味わえる喫茶コーナーなどがあります。

憩



ふせこうえん 布施公園

平安時代、後白河法皇が記した「梁塵秘抄」に「近江におかしき歌枕、老曾轟（おいそとどろき）、蒲生野布施の溜、安吉の橋…」と歌われた、“布施のため池”の一部を埋め立てて、一帯を整備して造られました。この池は、古くから灌漑用のため池ですが、その美しさは“蒲生野の真珠”と喻えられるほどです。水辺には、ジュンサイ、タヌギモが見られ、湿地帯にはサギソウ、トキソウといった可憐な花が咲くなど、四季折々に見せる表情は多彩です。この池は、野鳥にとっても恵まれた自然のオアシスであり、11月から3月にかけて、カモ・オシドリ・カイツブリ・バンなど約1000羽の水鳥が姿を見せます。双眼鏡を設置した野鳥観察小屋「観知溜館（みちるかん）」があり、野鳥観察も楽しめます。

現在、幼児から高齢者までの幅広い市民層に親しまれ、活用されています。



えんめいこうえん 延命公園

公園には約1000本のソメイヨシノが植えられており、毎年4月中旬が見頃で、期間中は桜まつりで賑わいます。また、秋の紅葉も美しく、散策道が整備された公園では、自然の中で景色を楽しむことができます。

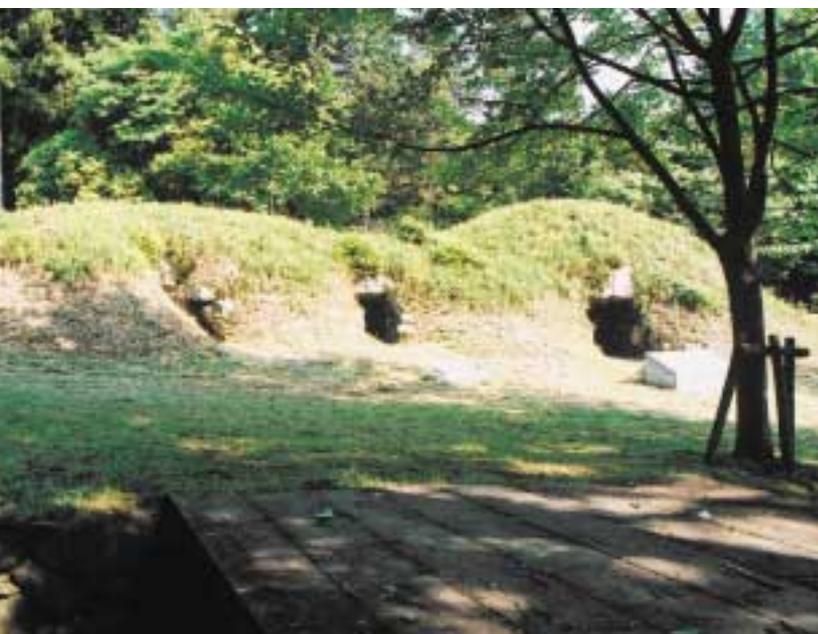
ぬのびきうんどうこうえん 布引運動公園

昭和59年度から整備を進めていた布引運動公園は、今堀工区に室内運動施設として、体育館や格技場、屋内プール、弓道場を配置し、屋外施設では、多目的広場、ゲートボール場を備え、平成11年3月、5haを都市公園として開園し、現在では多くの市民の健康増進とスポーツ振興の場として利用されています。



まん よう もり ふな おか やま
万葉の森 船岡山

万葉の森船岡山の頂上には、「元暦校本万葉集」の額田王と大海人皇子(後の天武天皇)の歌碑があります。この歌は二人の恋情を表した歌と言われ、万葉を代表する相聞歌として大変有名です。この場所からは蒲生野一帯を見下ろすことができ、万葉ロマンを感じる情景が広がっています。また麓には、相聞歌にも詠まれ古代の蒲生野に咲き乱れていたと言われる「紫草」など、万葉集に詠まれている植物約100種が、万葉植物園として広がっています。春にはツツジと新緑の万葉植物、秋には萩や紅葉など、季節によって様々な景色がみられる美しい山です。



ゆきの やま こ ふん れき し こう えん
雪野山古墳歴史公園

平成元年8月、東近江市・近江八幡市及び周辺地域にまたがる標高308mの雪野山の山頂から4世紀中頃(古墳時代前期)の古墳が、全国でも珍しい未盗掘の状態で見つかり、話題を呼びました。全長70mの古墳の後円部の墳頂部に南北方位で堅穴式石室1基があり、邪馬台国の王女卑弥呼が中国から賜ったといわれている三角縁神獣鏡などの銅鏡や石製品・土器、武具など副葬品も多く出土しました。

かわ べ もり
河辺いきものの森

河辺いきものの森は、国内でも珍しい河辺林(川のそばにある林)を活用した施設であり、里山として利用されなくなってしまった森を後世に残していくために、自然と触れ親しむ場所として作られました。森の中には、森の様々な様子を観察することができる「自然観察路」や「林冠トレイル」、かつて流れていた水路を復元した「水辺のビオトープ」などがあります。この豊かな森は、樹木の伐採や下刈りなどを行うボランティアの人々によって保全されており、最近では木をきったことのない子どもたちの体験学習の場として、学校等にも利用されています。また、川のそばにあるため森はほとんど平坦で、人にやさしい施設となっています。



みかべまつり
御河辺祭

現在は3月16日に近い日曜日に行われています。この日に雪が降れば豊作といわれています。

また、奈良時代からの歴史あるまつりで、6町から選ばれた頭人が、若衆に守られながら乗馬して郷内を回る「馬頭人行列」が特徴です。



もがみおど
最上踊り

大森・尻無、両町に伝承されている300年以上の歴史を誇るまつりです。東北一の大名であった最上家がこの地に移封され伝わったのが始まりといわれています。旧暦3月3日に陣屋の馬場で、領内の若者が城主に御覧を賜るのが風習であったといわれています。今では4月の第1土曜日・日曜日、大森神社（大森町）と八坂神社（尻無町）の祭礼に奉納しています。日の丸の扇にスゲ笠姿で踊り、県の無形民俗文化財に指定されています。



かいち きねん さい
開市記念祭

聖徳太子による「八日市市場」開市を記念した、開市記念祭が開催されています。「商」のまち八日市の発展に尽くした先人の功績を称え、今後ますますの商業の興隆を祈念すると共に、開市記念祭「八日市は妖怪地」のPRをはかり、賑わいの創出を目的としています。毎年3月には、市神社で記念式典や各種イベントが催されます。

春

たてべ
建部まつり

建部郷17カ村の連合祭典で、古くから伝承され、日吉神社でかつて2月の申の日に行われてきましたが、近年は4月の第2日曜に行われます。上の郷3神社の御輿、続いて下の郷（現在の五個荘地区）の3基が宮入りし、日吉神社御輿と合わせて7基が拝殿前に並びます。

境内参道は多くの見物客や参拝客で終日賑わいます。



ようかいちおのだこ
八日市大凧まつり

八日市大凧は300年の歴史を持つ国の選択無形民俗文化財です。愛知川の河川敷で毎年5月第4日曜日に開催され、明治15年には、240畳敷の大凧が揚げられたという記録が残っています。毎年揚げられる100畳敷大凧は、縦13m・横12m、重さ約700kgもあり、大空に舞い上がるその勇姿は毎年多くの見物客を驚かせます。





しょうとく
聖徳まつり

開市の祖・聖徳太子とふるさとの歴史や自然の恩恵に感謝を捧げると共に、伝統文化と人々の交流によってまちの繁栄と親睦をはかることを目的としたまつりで、メイン行事は江州音頭総踊りです。昭和45年に始まった総踊りは江州音頭発祥の地にふさわしく、約2,000人の踊り手が参加し、盛大に行われます。



ようかいち ようかいち
八日市は妖怪地

平成14年、「新たな八日市の歴史が始まる」と銘打って始められたのが「八日市は妖怪地」。「ようかいち」という名前の特性を生かし、妖怪地でしかできないこと、さらには全国的に注目されるまちづくりイベントの開催により、全国に情報発信し、まち全体を活性化させることを目的としています。

世界最長の肝試しコースや妖怪地百鬼夜行、妖怪地不思議マップなどのユニークなプログラムがあり、八日市商工会議所と地元の若手商工業者で組織された「ほない会」によって開催されています。イベントの他にも「妖怪」を接点とした地域間・世代間の交流や市民参加によるまちづくり意識の高揚を目指し、今後、さらなるまちづくり事業を展開していこうとしています。

夏





がもう の まん よう 蒲生野万葉まつり

昭和58年に始まった「蒲生野万葉まつり」は、新たな文化の創造や郷土文化の振興を目的としています。また、万葉ロマンが薫る蒲生野を広く紹介することで、万葉の里のイメージアップや観光振興につなげたいという思いも込められています。

現在では野点茶会、万葉集の朗詠、能楽会など当時は偲ぶ催しがあり、毎年多くの来場者で賑わいます。また、蒲生野で詠まれた相聞歌にいわれのある紫草を使った特産品等の販売も行われています。



おおぞら あそ 大空と遊ぼうヨ!フェスタ

八日市には、「日本初の民間飛行場発祥の地」と日本一の大きさと判じもんなどの特色で全国的に知られる「八日市大凧」という素晴らしい歴史や文化があります。古くから、限りないチャレンジ精神のもと、空を舞台に、夢とロマンを求めた偉業が開されてきました。こうした歴史的、文化的背景のもと、平成7年から「大空と遊ぼうヨ!フェスタ」が始められました。

現在は毎年10月中旬に開催されており、ライトプレーン大会・気球体験コーナーなど、大空をテーマにした様々な催しが行われ、さらなる地域文化の向上、活力ある地域活動の推進、地域の活性化が図られています。

秋

に こ はちまつり 二五八祭

昔、二・五・八のつく日に市が行われていたことにちなんで、毎年11月3日に行われる秋まつりです。八日市青年会議所の主催で楠の街路樹が美しい官庁街の路上で行われます。まつり当日は、青空のもとでフリーマーケット方式の市が開かれます。そのマーケットでは品物に関する質問など売り手と買い手の間に自然に交流が生まれ、姿かたちは現代風ですが、昔ながらの市場が持つ雰囲気を楽しむことができ、かつての「市」の賑わいを彷彿とさせます。毎年多くの人で賑わいます。





た ろ う ぼ う ひ た き た い さ い
太郎坊お火焚大祭

勝運授福の神として知られる太郎坊宮(阿賀神社)の火祭り、毎年12月第1日曜日に行われます。当日までに、全国の信者から20万本から30万本の護摩の奉納があり、これに火をつけ、霊力で罪汚れを払い、家内安全・無病息災などを祈願します。また山伏問答や火渡りの儀といった神事も行われます。

冬



しん し ゅん た こ あ た い かい
新春凧揚げ大会

成人の日恒例、聖徳中学校グラウンドで、干支を描いた20畳敷き大凧揚げと、豚汁サービス、抽選会、凧揚げ大会などが行われます。

にし いち の べ は だ か
西市辺裸まつり

鎌倉時代から伝わる行事で、毎年成人の日の前夜に行われます。参加者は、薬師堂の向かいにある若宮神社氏子の若連中で、神仏習合の時代の名残を偲ばせます。地上3mの梁に供えたマユ玉を15歳以上の独身男性が奪い合います。玉を奪えた者は、その年、良縁に恵まれると伝えられています。





八 日 市 の





特 産 品



●歴代会頭



●初代会頭

図 司 松兵衛

昭和31年2月8日～昭和35年9月30日

二代会頭●

今 宿 泰 蔵

昭和35年10月1日～昭和41年9月30日



●三代会頭

岡 崎 耕 平

昭和41年10月1日～昭和47年9月30日



四代会頭●

二 橋 貞 治 郎

昭和47年10月1日～昭和50年9月30日



●五代会頭

福 原 憲 治

昭和50年10月1日～昭和62年9月30日



六代会頭●

渡 辺 福之助

昭和62年10月1日～平成8年9月30日



●七代会頭

奥 村 晃一郎

平成8年10月1日～平成13年10月31日



八代会頭●

二 橋 貞 雄

平成13年11月1日～平成14年4月11日



●九代会頭

今 宿 市 郎

平成14年5月28日～



会頭・副会頭・専務理事

平成18年3月31日現在



会頭

今宿 市郎

近江酒造(株) 代表取締役



副会頭

熊木 洋一

(株)熊木 代表取締役



副会頭

田中 敏彦

(株)山彦 代表取締役



専務理事

西村 良三

八日市商工会議所

常議員 (五十音順)

平成18年3月31日現在



磯貝 武司

太平楼
経営者



岩嶋 益明

(株)八日市ロイヤルホテル
代表取締役



大西 和彦

湖東信用金庫
理事長



岡田 晶

(株)木村製作所
代表取締役



奥村 章三

(株)奥村鉄工所
代表取締役



北川 鉄樹

(株)滋賀銀行八日市東支店
支店長



木村 雅洋

タキロン(株)八日市工場
事務部長



重森 三良

(株)重森スポーツ
代表取締役会長



因司 松兵衛

大日本トランプ(株)
代表取締役



辰巳 育男

松下電器産業(株)
松下ホームアプライアンス社
エコクリーンライフ事業部
総務課長



堤 隆郎

銘茶ますきち
経営者



富田 正敏

(株)滋賀報知新聞社
代表取締役



中川 治雄

丸中製麺(株)
代表取締役会長



中村 光男

近江鉄道(株)八日市営業所
所長



西田 正

日本エッグサービス(株)
代表取締役



畑 喜秋

本町商店街振興組合
専務理事



藤田 エイ子

(株)藤田製作所
代表取締役



回渕 和治

(株)花治
代表取締役



光田 博

(株)ライフテックミツダ
代表取締役



山田 倭造

丸和産業(株)
代表取締役



山田 利治

(有)びわこドリーム観光
代表取締役



由良 清

関西電力(株)八日市営業所
所長



渡辺 一郎

八日市物流倉庫(株)
代表取締役

監 事 (五十音順)

平成18年3月31日現在



大橋 實

神崎証券(株)
代表取締役



藤田 勝

(株)びわこ銀行八日市支店
支店長

議員 (五十音順)

平成18年3月31日現在



相宮 青一

(株)ノエビア滋賀事業所
総務グループ課長代理



石橋 浩

アクサ生命保険(株)彦根営業所
八日市分室 所長



今宿 幸男

八日市清掃(株)
代表取締役



岩崎 繁

魚繁 大王殿
経営者



上原 平太郎

平和奥田(株)
取締役総務部長



大谷 定治

(株)八日市自動車教習所
取締役



大洞 共一

理容まつば
経営者



長田 敬夫

(株)オサダ
取締役



籠谷 昇

(株)籠谷鉄工所
代表取締役



喜多 良道

喜多酒造(株)
代表取締役



金 英信

(株)サンシャイン
代表取締役



小泉 英二

日本の地酒・世界の名酒
「こいずみ」 経営者



小嶋 太郎

(株)布引焼窯元
代表取締役



小林 弘和

小林事務機(株)
代表取締役



重田 稔

エンゼルトランプ(株)
代表取締役会長



庄田 勝浩

(株)村田製作所八日市事業所
事務課長



鈴木 義勝

(株)日本興産
代表取締役



角田 誠

サントリー(株)
近江エージングセラー 所長



高村 潔

(株)シガ建装
代表取締役



竹崎 泰介

凸版印刷(株)
エレクトロニクス事業本部
滋賀工場 総務課長



竹中 聡雄

(株)ラプリーシステムイン
代表取締役



田中 亨

(株)滋賀ユニック
代表取締役



丹部 一三

(株)平和堂アルプラザ八日市
支配人



寺田 義和

(有)テラダオート
代表取締役



寺村 義和

(株)寺義工作所
代表取締役



土井 信幸

(有)マルジン
代表取締役



徳永 信子

豊増
経営者



中沢 智子

名神土地開発(株)
取締役



西沢 高弘

会席料理 吉かつ
経営者



西野 正芳

(有)西野土建
代表取締役



西原 三弥

(有)八厚浄化センター
代表取締役



石丸 洋

京セラ(株)滋賀八日市工場
総務課責任者



野田 芳朗

(株)野田建築設計事務所
専務取締役



野矢 善章

(有)野矢商店
代表取締役



林寺 篤

(有)ハヤシデラ
代表取締役



速水 次郎

(有)速水商会
代表取締役会長



深尾 俊幸

深尾商店
経営者



藤野 道春

藤野呉服店
経営者



本間 林蔵

(有)ほんま
代表取締役



松山 孝司

シキボウ(株)八日市工場
総務課長



松山 辰夫

社会福祉法人
八身福祉会 施設長



南井 秀樹

(有)アビスミナミイ
代表取締役



向 茂夫

(株)向茂組
代表取締役



向 真史

(有)向菊商店
代表取締役



村北 正一

(株)ティラド滋賀製作所
工場管理室リーダー



山本 浩

(株)きんでん八日市営業所
所長



若吉 晃

(株)薩摩電業社
代表取締役

時代にみる八日市商工会議所50年

昭和31年設立

昭和29年、八日市市の誕生を契機に従来の商工会組織を商工会議所法に基づく法人に改組しようとする機運が高まり、昭和31年1月、岡司松兵衛氏を代表発起人とする有志512名にのぼる賛同を得るに至った。その後速やかに、昭和31年2月8日、628名の出席のもと八日市中央公民館において創立総会を挙行、さらに引き続き昭和31年3月15日通産大臣設立認可、同月30日設立登記、同31日滋賀県知事に対する登記完了届の提出等の手続きをすべて終え、翌4月2日成立式を挙行、ここに八日市商工会議所は歴史の一步を力強く踏み出した。

昭和31年度

昭和31年4月1日⇒昭和32年3月31日

商工会議所組織の基礎確立と事業活動の普及PRに全力を傾注した。本年度は創立初年度であり、所内の整備と所員の訓練の計画を樹立し、今後の活動の基礎を策定した。

世界、日本のできごと

- 3月14日 日本道路公団法公布
- 4月1日 医薬分業制度施行
- 4月16日 日本道路公団設立
- 5月22日 中小企業振興資金助成法公布
- 5月23日 百貨店法制定
- 6月1日 中小企業振興審議会設置
- 下請代金支払遅延等防止法公布
- 10月19日 鳩山・ブルガーニン両首相が日ソ共同宣言に調印
- 12月18日 国連が日本の加盟承認
- 12月23日 石橋湛山内閣成立
- 1月29日 南極大陸に昭和基地設営
- 2月25日 岸信介内閣成立
- 2月26日 日英通商協定調印
- 3月25日 EEC〈欧州経済共同市場〉成立
- 3月29日 ナベ底景気対策に1千億円



設立当初の事務局

八日市のできごと

- 12月15日 八日市市消防団常備消防本部が発足



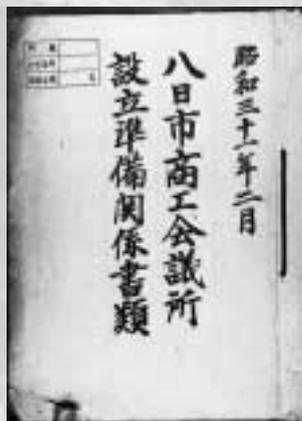
設立当時の商工会館



八日市商工会議所成立式



設立総会に提出した議案



設立のために準備した書類綴



通産大臣宛提出した認可申請書原本

昭和32年度

昭和32年4月1日⇒昭和33年3月31日

当初の計画に基づき役員議員の改選を行い、会議所の基礎確立に重点を置く。諸施策を実施するため、各業界の意見をまとめた意見具申を行い、商工業の振興に努力を傾け、観光協会を設立し、観光宣伝事業の拡充を期した。

世界、日本のできごと

- | | | | |
|--------|--------------------------|-------|-------------------|
| 5月8日 | 公定歩合引上げで繊維関係株が大暴落 | 1月20日 | インドネシアと平和条約賠償協定調印 |
| 7月6日 | 日豪通商協定調印 | 3月9日 | 関門トンネル開通 |
| 7月19日 | 対中国輸出大幅緩和 | | |
| 10月1日 | 日本銀行5,000円札発行 | | |
| 10月4日 | ソ連初の人工衛星スプートニク1号打上げ成功 | | |
| 11月25日 | 中小企業団体の組織に関する法律公布 | | |
| 12月6日 | 日ソ通商条約調印
東海村に原子炉の火ともる | | |

八日市のできごと

- | | | | |
|-------|--------------------------|-------|-----------------------|
| 4月 | 金屋町地先に市制施行後初めての公営住宅18戸完成 | 3月28日 | 学校統合計画が議決される（新設統合は3校） |
| 8月27日 | じんあい焼却場の火入れ式（旧八日市飛行場跡） | | |

昭和33年度

昭和33年4月1日⇒昭和34年3月31日

八日市市永年の懸案であった八日市卸売市場の設立に参画し、その実現を完了した。従業員退職金制度、失業保険事務組合の創設等社会福祉の増進に努めた。

世界、日本のできごと

- | | | | |
|-------|--|-------|------------------------------|
| 4月 | 比叡山下ライブウェイ開通 | 7月25日 | 日本貿易振興会（JETRO）発足 |
| 4月1日 | 売春防止法施行 | 10月 | 水質保全法 工場排水法施行 |
| 5月 | 長崎中国国旗引き下ろし事件で日中貿易停止 | 12月1日 | 日本銀行1万円札発行 |
| 5月10日 | 日中貿易全面停止 | 12月4日 | 日ソ貿易協定調印 |
| 6月 | 第2次岸信介内閣成立
国鉄八尾－吹田間バス開通
EEC（欧州経済共同体）発足 | 1月1日 | メートル法実施
新国民健康保険法施行、キューバ革命 |
| 6月18日 | 日銀戦後初めて公定歩合引下げ実施 | 3月20日 | 工業立地調査法公布 |

八日市のできごと

- | | | | |
|-------|--|-------|-------------------------------------|
| 4月22日 | 都市計画街路16線が建設省告示により決定 | 9月30日 | 八日市北小学校が開校 |
| 5月30日 | 八日市市役所出張所廃止条例可決。（住民の利便性が低下しないようにとの要望が付された） | 11月1日 | 県下随一の規模を誇る、八日市市自動車運転者試験場開設（玉緒中学校南側） |
| 6月 | 数十年ぶりの異常渇水 | | |

昭和34年度

昭和34年4月1日⇒昭和35年3月31日

トランプ会社、及びコンクリート会社の設立に参画し、その実現を完了。納税意欲の向上の一助としての納税協会八日市支部の設立に努力。

世界、日本のできごと

- | | | | |
|-------|---------------------|-------|-------------|
| 4月10日 | 皇太子殿下御成婚 | 1月19日 | 日米新安全保障条約調印 |
| 4月13日 | 特許法、実用新案法、意匠法、商標法公布 | 3月28日 | 安保闘争始まる |
| 4月15日 | 最低賃金法公布 | | |
| 4月16日 | 国民年金法公布 | | |
| 4月23日 | 小売商業調整特別措置法公布 | | |
| 5月9日 | 中小企業退職金共済法公布施行 | | |
| 9月26日 | 伊勢湾台風 | | |

八日市のできごと

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 4月1月 | 第3代（3人目）市長に山田平治氏が就任 |
| 8月9月 | 市議選（全市1区で定数30人） |
| 8月 | 都市計画道路2・2・1号線（東本町小脇線）改良事業着手 |
| 11月1月 | 八日市市消防署設置 |
| 2月18月 | 市辺町簡易水道施設完成（第1号） |

昭和35年度

昭和35年4月1日⇒昭和36年3月31日

商工会法の施行に伴い、国及び県の補助を受け小規模事業対策としての経営改善普及員を設置。

- 役員・議員改選

世界、日本のできごと

4月30日	中小企業業種別振興臨時措置法制定	12月8日	第2次池田勇人内閣成立
5月20日	商工会の組織等に関する法律公布		皇孫（浩宮）ご誕生
6月24日	貿易為替自由化計画決定	12月20日	新道路交通法施行、ベトナム戦争
7月1日	自治庁が自治省に昇格	3月7日	日米新関税協定正式調印
7月19日	池田勇人内閣成立		
9月6日	所得倍増計画発表		
9月10日	NHKカラーテレビ本放送開始		

八日市のできごと

4月1日	八日市南小学校が開校	12月20日	都市計画税を新設
7月4日	全市を都市計画の区域として決定、都市計画法の適用を受ける	2月27日	今代町で大火があり民家10戸が焼失
7月17日・7月24日	第1回八日市市民体育大会開催		
11月16日	地方財政再建促進特別措置法による財政再建準用団体となる（昭和35年から昭和41年）		

昭和36年度

昭和36年4月1日⇒昭和37年3月31日

小規模事業対策に施策の重点を置き、商工振興のため各種事業と観光のための事業を実施した。

八日市織物工業協同組合の設立に参画し、八日市工業会を結成し、工業分野に積極的に力を注いだ。

世界、日本のできごと

4月1日	割賦販売法公布	11月24日	第1回日米貿易経済合同委員会開催
4月12日	世界最初のソ連の人工衛星船ボストーク号が地球を一周して無事帰着。「地球は青かった」との第一声は有名		ソ連人工衛星船打上げに成功
6月	雇用促進事業団法公布		
6月12日	農業基本法公布		
8月13日	ベルリンの壁が築かれる		
9月26日	貿易の自由化繰上げ決定		
10月2日	東京、大阪、名古屋株式第二市場発足		

八日市のできごと

7月	村田製作所八日市工場起工式（誘致企業第1号 昭和37年11月操業）
10月9日	玉園中学校新校舎竣工

昭和37年度

昭和37年4月1日⇒昭和38年3月31日

商工婦人学級を開設し、全事業所の巡回簡易診断を始め、各種事業を推進した。

- 延命山観光道路竣工式
- 太郎坊ドライブウェイ竣工式

世界、日本のできごと

4月1日	中小企業振興資金等助成法施行	7月	(財)中小企業指導センター設立
5月1日	不当景品類、不当表示防止法公布	10月	キューバ危機
5月15日	日中貿易延払輸出方針決定	3月31日	中小企業近代化促進法公布施行
5月17日	商店街振興組合法公布		
6月2日	ばい煙排出規制法公布		
6月21日	E E Cと関税相互引上げ協定調印		

八日市のできごと

5月	延命寺山観光道路竣工 3ヵ年計画にて昭和32年12月失業対策事業として着工、地元関係者の熱意と自衛隊の協力により完成	3月16日	公明選挙都市宣言
6月	名神高速道路八日市工事区着工		
1月1日	第1回谷杯争奪元旦マラソン大会開催 (現・八日市市元旦健康マラソン大会)		

昭和38年度

昭和38年4月1日⇒昭和39年3月31日

近鉄本社に要望していた市内循環バスの開通、近畿圏整備法の施行、国際空港誘致運動、八日市遊園地の設置問題と開発促進に努めた。

● 役員・議員改選

世界、日本のできごと

- 4月1日 バナナなど25品目自由化
- 4月12日 日ソ漁業協定調印
- 5月14日 日仏通商協定調印
- 6月10日 中小企業投資育成(株)法公布施行
- 6月15日 中小企業指導法公布施行
- 6月20日 中小企業基本法施行
- 7月10日 近畿圏整備法制定
- 11月1日 日本銀行、新1,000円札発行
- 11月25日 ケネディ暗殺で株価急落
米通信衛星の日米間テレビ中継成功

2月28日 初の「中小企業白書」を発表



改装した会議所会館

八日市のできごと

- 4月30日 第4代市長に西沢久兵衛氏が就任
- 8月10日 市議会議員選挙(定員22名)
- 8月30日 都市計画用途地域決まる

昭和39年度

昭和39年4月1日⇒昭和40年3月31日

産業従事員の福祉に増進すべく、労働福祉協議会の設立のほか、八日市市広域商業診断を実施し、当市将来の指針を究めた。

● 商工会館改造

世界、日本のできごと

- 4月1日 IMF〈国際通貨基金〉8条国に移行
- 4月28日 OECD〈経済協力開発機構〉に加盟
- 6月 近畿圏整備関係二法公布
- 9月 琵琶湖大橋開通
- 9月5日 名神高速道路開通
- 10月1日 東海道新幹線開通
- 10月10日 東京オリンピック開幕
「東洋の魔女」の異名を持つ日本女子バレ

ーボールが回転レシーブでソ連を破り、金メダルを獲得

10月16日 中国、初の核爆発実験に成功

11月9日 佐藤栄作内閣成立

1月13日 粗鋼生産量世界第3位となる

2月 府立工業奨励館東大阪分館協力会結成

2月7日 アメリカの北ベトナム爆撃はじまる

八日市のできごと

- 4月1日 延命山ふもとに八日市遊園地が完成(近江鉄道(株))
- 4月12日 名神高速道路が開通し八日市インターチェンジ開設される
- 5月3日 市制10周年記念大凧(市隆盛)80畳敷

6月1日 市街地の住居表示が整備される

6月1日 有線放送が約3千世帯の加入者をもって放送を開始

11月2日 市役所庁舎が旧南小八日市校舎跡へ移転し、業務を開始

昭和40年度

昭和40年4月1日⇒昭和41年3月31日

中小企業労務改善集団の指定をうけ、中小企業の労務改善事業を統一的に実施し、中小企業の発展と労働者の経済的、社会的地位の向上に努めた。

世界、日本のできごと

- 6月1日 公害防止事業団発足
- 6月1日 小規模企業共済法公布
- 6月22日 日韓基本条約協定調印
- 10月 (財)日本万国博覧会協会設立
- 11月19日 戦後初の赤字国債発行決定
- 12月1日 中小企業信用保険臨時措置法公布
- 1月15日 日米綿製品取り決め調印
- 1月19日 国債20年ぶり発行

1月21日 日ソ貿易支払決定、日ソ航空協定調印

2月27日 第1回物価メーデー

3月31日 日本の総人口、1億人を突破

この年「いざなぎ景気」はじまる

八日市のできごと

- 8月1日 市内7農協が合併し、八日市市農業協同組合が誕生(組合員3,456人)
- 9月17日 台風24号により蛇砂川決壊、家屋全・半壊など多くの被害を受ける。災害救助法が適用される

12月21日 昭和40年度末の決算が黒字となる見込みから、財政再建計画の1年短縮を決議

3月3日 八日市衛生プラント組合設置(八日市、安土、蒲生、竜王、永源寺)

昭和41年度

昭和41年4月1日⇒昭和42年3月31日

大型店舗の進出に応じ、地元商店の経営の合理化、組織化を図り、体質の改善に努力を傾注し、八日市工業振興協同組合や、本町商店街振興組合の結成をはかった。

- 役員・議員改選

世界、日本のできごと

- 4月6日 東南アジア開発閣僚会議開催
- 4月6日 中国で文化革命始まる
- 5月16日 中国文化大革命
- 7月4日 新東京国際空港、成田市三里塚に決定
- 11月24日 アジア開発銀行創立総会
- 12月16日 近畿圏整備本部、府県別建設計画を発表
- 2月19日 第2次佐藤内閣成立

八日市のできごと

- 3月15日 1970年の万国博覧会の開催記念とPRを兼ね大風を飛ばす

昭和42年度

昭和42年4月1日⇒昭和43年3月31日

昨年結成された本町商店街振興組合を指導、アーケードの建設を見た。

- 八日市商工会議所会館建設準備着手

世界、日本のできごと

- 4月27日 日豪ニュージーランド、太平洋経済委員会設置
- 6月5日 中東戦争はじまる
- 7月1日 外資審議会が資本自由化を決定
EC（ヨーロッパ共同体）発足
- 7月13日 中小企業振興事業団法公布施行
- 7月29日 協業組合制度創設
- 8月3日 公害基本法公布
- 8月8日 ASEAN（東南アジア諸国連合）発足
- 9月1日 四日市ぜんそく公害訴訟
- 10月18日 第1次羽田事件
- 11月12日 第2次羽田事件

八日市のできごと

- 4月1日 八日市西小学校が開校
- 11月1日 公益質屋廃止
- 3月30日 明治百年を祝う大風飛ばす(明治百年を祝す)80畳敷

昭和43年度

昭和43年4月1日⇒昭和44年3月31日

商工会議所会館の建設に着工し、地域商工業の発展の基盤を造成強化した。

世界、日本のできごと

- 5月5日 42年GNP資本主義国家第3位となる
- 5月8日 イタイタイ病を公害と発表
- 5月30日 消費者保護法公布
- 6月10日 大気汚染防止法公布
- 6月15日 新都市計画法公布
- 6月19日 騒音規制法公布
- 6月26日 小笠原諸島わが国に帰る
- 7月1日 郵便番号制度実施
- 10月17日 川端康成ノーベル文学賞受賞
- 12月10日 東京府中で現金3億円強奪事件
- 2月13日 日ソ航空交渉妥結
- 3月1日 第2次資本自由化実施

八日市のできごと

- 5月5日 蒲生野万葉歌碑除幕式（蒲生野顕彰会）
- 7月4日 本町商店街アーケード完成

昭和44年度

昭和44年4月1日⇒昭和45年3月31日

- 商工会議所会館竣工式
- 役員・議員改選

世界、日本のできごと

- | | | | |
|-------|---------------------|-------|----------------------|
| 5月15日 | 自主流通米制度発足を決定 | 6月12日 | 初の国産原子力船むつが進水 |
| 5月23日 | 初の「公害白書」を発表 | 7月20日 | アポロ11号打上げ、人類初の月面着陸成功 |
| 5月26日 | 東名高速道路全線開通 | 1月23日 | 日本商工会議所道州制試案を発表 |
| 5月31日 | イザナギ景気により東証ダウ2千円を突破 | 3月14日 | 日本万国博覧会開会。閉会9月13日 |
| 6月11日 | 43年度GNP世界第2位となる | 3月31日 | 日航機よど号ハイジャック事件発生 |

八日市のできごと

- | | | | |
|-------|-----------------------|-------|----------------------------------|
| 7月15日 | 「江州音頭発祥地」顕彰碑除幕式(延命公園) | 2月16日 | 八日市市消防庁舎新築工事起工式(野々宮町) 8月1日から業務開始 |
| 7月28日 | 八日市衛生公苑が完成 | | |
| 8月 | 衛生プラント施設本体工事が完成 | | |



完成した会議所会館



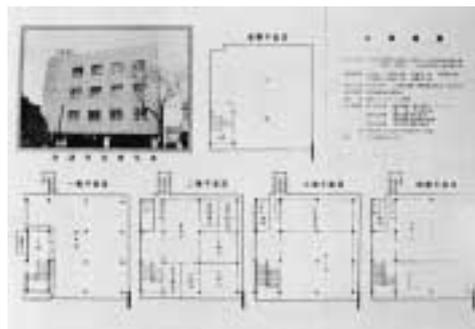
第1回の会館完成図



会館建設寄附同意書



会館建設についての依頼書



会館完成平面図

昭和45年度

昭和45年4月1日⇒昭和46年3月31日

八日市自動車協同組合の設立指導、大企業の進出に伴う大型店対策調査研究などの事業を実施。

- 第1回聖徳まつり挙行

世界、日本のできごと

- 4月17日 日中覚書貿易存続調印
- 6月24日 日米繊維交渉決裂
- 9月1日 第3次資本自由化実施
- 12月25日 水質汚濁防止法、産業廃棄物処理及び清掃法公布
- 12月26日 下請中小企業振興法公布
臨時国会で公害関係14法成立
- 1月17日 国際石油資本1バーレル27～8%値上げ通告

八日市のできごと

- 9月2日 中部地域広域市町村圏協議会設立（2市7町）
- 10月 水道事業所開設

昭和46年度

昭和46年4月1日⇒昭和47年3月31日

中小企業の立場を強めるために融資制度を拡充し、企業診断を行う等、経営指導の充実を柱とし、経営に関する情報の提供や従業員対策など商工業の振興のための事業を行った。

- 商工会議所創立15周年記念式典挙行
- 不況対策企業診断実施

世界、日本のできごと

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 4月5日 中小企業特惠対策臨時措置法公布 | 8月4日 第4次資本自由化実施 |
| 6月15日 東証ダウ史上最高の2,542円を記録 | 8月15日 米国ドル防衛策発表〈ドルショック〉 |
| 6月17日 沖縄返還協定調印式 | 12月18日 円レート、1ドル308円決定 |
| 7月1日 繊維対米自主規制を実施
環境庁設置 | 3月15日 山陽新幹線〈新大阪－岡山〉開通 |

八日市のできごと

- | | |
|--|---------------------------|
| 4月30日 第5代市長に武村正義氏が就任 | 7月1日 緊急医療のための当直医制度がスタート |
| 5月28日 中部地域広域市町村圏東部ゴミ処理組合発足（八日市、日野、蒲生、竜王、永源寺） | 2月15日 基本構想「ゆたかな八日市への構想」議決 |



八日市商工会議所創立15周年記念式典

昭和47年度

昭和47年4月1日⇒昭和48年3月31日

- 役員議員改選
- 商工名鑑発刊記念式典挙行
- 商店街再開発問題着手

世界、日本のできごと

5月5日	沖縄本土復帰	10月20日	第3次円対策決定
6月11日	田中通産相、日本列島改造論を発表	12月18日	中国に日本大使館を設置
6月16日	工業再配置促進法公布	1月1日	老人医療無料化（70歳以上）
6月24日	東京外国為替市場閉鎖。再開29日	1月27日	ベトナム和平協定調印
7月7日	田中角栄内閣成立	2月2日	東証ダウ245円安、史上最大暴落
9月25日	田中首相、中国訪問	2月14日	円、変動相場制移行、円急騰
9月29日	日中国交国際共同宣言	2月21日	中小企業対策財投1千億追加

八日市のできごと

4月1日	中部地域広域消防組合発足（2市7町）	400m）浸水家屋436戸、冠水した田畑226ha	
4月5日	聖徳保育園開園	10月1日	上水道給水始まる（市街地約3千5百世帯）
7月1日	初めての自転車道路野村町自転車歩行者専用道路開通	11月3日	東部ゴミ処理場操業開始（のち日野清掃センターと改称）
8月5日	瓢箪小路が2・2・2号線として一部（418m）が開通	11月8日	公害防止と緑の協定 市内の主な12工場と締結
8月15日	八日市市土地改良事業推進協議会発足	1月20日	八日市市中央公民館改築工事完成
9月16日	台風20号により蛇砂川の決壊が10箇所（約		



八日市商工名鑑発刊記念式典



昭和48年度

昭和48年4月1日⇒昭和49年3月31日

世界、日本のできごと

- | | | | |
|-------|----------------------------------|--------|---|
| 4月27日 | 春闘史上初のゼネスト | 10月17日 | OPEC、石油の大幅値上げ決定 |
| 9月29日 | 中小小売商業振興法公布 | 11月2日 | オイルショックでガソリン、紙不足で混乱 |
| 10月1日 | 国際石油大手原油17~23%値上げ通告
〈オイルショック〉 | 1月16日 | 第2次石油、電力消費規制実施 |
| 10月5日 | 公害健康被害補償法公布
工場立地法施行 | 1月21日 | 東京外為市場閉鎖決定
この年狂乱物価、戦後初のマイナス成長
(1月の消費者物価は前月比4.4%前年度比23.1%高騰) |
| 10月6日 | 第4次中東戦争勃発 | 3月1日 | 大規模店舗法施行 |

八日市のできごと

- | | | | |
|-------|-------------------------------------|--------|---------------------------|
| 5月1日 | あかね児童館完成 | 9月13日 | 自転車安全利用モデル都市の指定を受ける |
| 5月18日 | 市の木(赤松)、花(つつじ)、鳥(ひばり)
決まる | 10月4日 | 全国で初めての「自転車都市宣言」 |
| 6月2日 | 第1回市民大学開講(初代学長 立命館大
学名誉総長 末川博先生) | 12月28日 | 都市計画法での線引きが告示される |
| 9月8日 | 南部地区誕生 | 3月25日 | 八日市市民憲章を制定、八日市市民の歌決
まる |
| | | 3月30日 | 八日市市民の環境を守る条例制定 |

昭和49年度

昭和49年4月1日⇒昭和50年3月31日

世界、日本のできごと

- | | | | |
|--------|-----------------|-------|----------------|
| 5月17日 | 繊維工業構造改善臨時措置法成立 | 3月10日 | 山陽新幹線〈岡山-博多〉開通 |
| 6月26日 | 国土庁設置 | | |
| 12月9日 | 三木武夫内閣成立 | | |
| 12月28日 | 雇用保険法施行公布 | | |
| 2月 | 企業の大学卒採用取消し増大 | | |

八日市のできごと

- | | |
|-------|------------------|
| 4月16日 | 市辺幼稚園竣工 |
| 6月10日 | 勤労青少年ホームが完成 |
| 7月11日 | さつき児童館完成 |
| 7月22日 | 第1回サマービレッジが開催される |
| 8月16日 | 緑化モデル都市となる |
| 9月2日 | すみれ保育園開園 |
| 12月1日 | 第6代市長に山田正次郎氏が就任 |

昭和50年度

昭和50年4月1日⇒昭和51年3月31日

議員の定数を40名から50名に改正し、商工会議所の権威を高めた。また、役員、議員の改選を行った。創立20周年を次年度に控え、その事業のための準備、大規模小売店舗に係る小売業の事業活動の調整を実施、協同店舗建設のための中小企業振興事業団診断を実施した。

世界、日本のできごと

- | | | | |
|--------|------------------------------|--------|--|
| 6月11日 | 小売業の資本自由化100%実施 | 12月22日 | 新経済五ヵ年計画概要決定
この年造船不況始まる、不況深刻化(完全
失業者100万人突破) |
| 7月19日 | 沖縄国際海洋博開幕(閉幕51年1月18日) | | |
| 9月30日 | 中小企業近代化促進法改正 | | |
| 10月1日 | 事業税法施行 | 3月5日 | 中小企業救済特別融資450億融資決まる |
| 11月6日 | 商工会法に関する法律施行15周年記念式典
行われる | | |
| 11月15日 | 第1回先進国首脳会議(フランス・ランプ
イエ) | | |

八日市のできごと

- | | | | |
|-------|-------------------|-------|-----------------|
| 6月2日 | 行政ニュータウン造成工事完成 | 7月19日 | 都市計画公園「延命公園」完工式 |
| 7月1日 | 中部清掃組合能登川清掃センター開設 | | |
| 7月4日 | 集中豪雨により175戸が浸水被害 | | |
| 7月15日 | 八日市野幼稚園・八日市寺幼稚園竣工 | | |

昭和51年度

昭和51年4月1日⇒昭和52年3月31日

商工会議所創立20周年記念式典、記念事業の挙行をはじめとし、議員研修、開市記念祭の実施、商業活動調整協議会の活動等中小企業の振興のための経営指導を活発に実施した。

世界、日本のできごと

- | | | | |
|--------|--------------------------|--------|-------------|
| 5月21日 | 中小企業分野調整で通産省に中小企業調査官制度発足 | 12月24日 | 福田赴夫内閣成立 |
| 12月3日 | 11月の倒産1,600件を超え史上最高 | 3月9日 | 3,000億減税決まる |
| 12月15日 | 中小企業事業転換対策特別措置法公布 | | |

八日市のできごと

- | | | | |
|-------|------------------------------|-------|-----------|
| 5月4日 | 南部地区公民館新設 | 3月20日 | 玉緒幼稚園竣工 |
| 8月1日 | 駅前土地区画整理事業現形測量を開始 | 3月29日 | 野口教育集会所竣工 |
| 2月5日 | 行政ニュータウンに現市庁舎竣工（2月14日から業務開始） | | |
| 2月18日 | 平田幼稚園竣工 | | |



八日市商工会議所創立20周年記念式典



昭和52年度

昭和52年4月1日⇒昭和53年3月31日

中小企業の診断、指導、商店街事業の高度化施策の指導のほか、商業活動調整協議会の活動等地域商工業の振興のための指導を実施する一方、全国民的課題である同和問題にも積極的に取り組み、企業内同和教育を推進した。

世界、日本のできごと

- 4月5日 円高1ドル272円50銭となる
政府200カイリ法閣議決定
- 5月27日 独禁法改正。中小企業分野調整法、小売商業調整特別措置法改正成立
- 9月5日 プロ野球王貞治、国民栄誉賞第1号受賞
- 9月6日 政府は景気総合対策として2兆円追加
公定歩合引下げを決める
- 9月28日 日本赤軍、日航機ハイジャック事件
- 10月14日 円高再燃。1ドル252円台に上り史上最高となる
- 12月 政府53年度の実質成長率見通7%と発表
- 1月 新成人152万人と戦後最低
政府中小企業円高対策臨時措置法案決める
- 2月 繊維など構造不況業種の52年生産水準が45年並みに落ち込む
- 2月16日 日中長期貿易取り決めが北京で調印される
- 3月25日 阪神高速道路の大阪－東大阪線、法円坂－森之宮間開通

八日市のできごと

- 4月1日 市内全幼稚園で2年制を実施
- 8月8日 平田公民館改築工事完成
- 8月26日 県消防ポンプ操法大会で市消防団優勝
- 1月17日 八日市勤労福祉会館竣工
- 3月19日 休日急患診療所開設
- 3月30日 小脇町宮教育集会所竣工



近代化をめざす市街地商店街

昭和53年度

昭和53年4月1日⇒昭和54年3月31日

議員定数を50名から60名に改正し、また、会員増強については、目標とした組織率50%を達成、商工会議所の基盤を強化した。また役員、議員の改選を行った。八日市駅前地区土地区画整理事業を推進した。

世界、日本のできごと

- 5月20日 新東京国際空港の開港
- 6月20日 東京外為市場で1ドル211円10銭の新高値
- 8月12日 日中平和友好条約が北京人民大会堂で調印
- 9月12日 政府税制調査会は総会で一般消費税の試案をまとめる
- 12月7日 大平正芳内閣成立
- 1月1日 米中国交回復
- 1月13日 初の国公立大学共通1次試験実施
- 1月17日 第2次石油ショック
- 2月11日 イラン革命成立
- 3月15日 政府、石油消費削減対策発表

八日市のできごと

- 6月1日 市史編さん委員会が発足
- 7月27日～8月12日 マーケット市へ初めて使節団を派遣
- 11月15日 保護樹木5本、保護樹林6カ所指定
- 1月24日 建部幼稚園竣工
- 2月28日 御園小学校新校舎完成
- 3月2日 市辺公民館竣工
- 3月31日 つつじ保育園竣工



行政ニュータウンの新しい商業地

昭和54年度

昭和54年4月1日⇒昭和55年3月31日

商工会議所基盤強化のため、会員増強では会員数目標の1000名を達成した。
●八日市市とアメリカ・ミンガン州マーケット市 姉妹都市提携

世界、日本のできごと

4月 関西国際空港問題懇談会発足
5月16日 中小企業対策の一環として全国下請企業振興協会が発足

6月28～29日 東京サミット・主要先進国首脳会議が開催される
12月27日 ソ連、アフガニスタン侵攻

八日市のできごと

4月1日 布引小学校が開校
7月8日 長山公園オープン
8月1日～5日 全国高校総合体育大会（八日市市で女子ソフトボール・自転車ロードレース開催）
8月13日 マーケット市と姉妹都市提携調印（8月1日～23日 マーケット市から初めての使節団来市）
12月12日 玉緒公民館改築工事完成
3月15日 中野公民館改築工事完成



姉妹都市提携

昭和55年度

昭和55年4月1日⇒昭和56年3月31日

八日市市企業内同和教育推進協議会の設立に協力し、また駅前再開発事業の研究及び永年の願望である京都・八日市・桑名線国道昇格に向けての運動を展開した。

世界、日本のできごと

7月17日 鈴木善幸内閣成立
7月19日 モスクワオリンピック開幕、日、米、中など不参加
1月6日 政府、2月7日を「北方領土の日」に決定
3月2日 中国残留日本人孤児、初来日
3月11日 国鉄再建法政令公布
3月20日 神戸でポートピア'81開幕

八日市のできごと

4月1日 布引斎苑組合発足
4月4日 みつくり保育園開園
9月25日 市民健康センター開設
11月1日 南部地区と周辺の住居表示実施
1月6日 市立図書館（清水2丁目）開館
3月20日 中野幼稚園竣工



第11回聖徳まつり

昭和56年度

昭和56年4月1日⇒昭和57年3月31日

●八日市商工会議所創立25周年記念式典を挙行、また、役員議員の改選を行った
●大型スーパーの抑制商店街の自助努力の推進を骨子となる凍結宣言がなされた
●第36回国民体育大会（びわこ国体）のための街頭装飾と主会場売店運営に協力

世界、日本のできごと

2月8日 東京のホテルニュージャパン火災、32人死亡

八日市のできごと

5月23日 県立八日市文化芸術会館開館（県下第3号館）
7月25日 布引斎苑が完成
9月10日 日・中・米国際親善女子ソフトボール滋賀大会長山公園で開催
10月14日～18日 第36回国民体育大会の秋季大会（びわこ国体）始まる
八日市市ではソフトボール競技（成年男女）と自転車競技（道路競走）を実施
14日 天皇陛下八日市へ御来市

昭和57年度

昭和57年4月1日⇒昭和58年3月31日

八日市市の産業界の実状を広く紹介宣伝し、住民に産業に対する認識を深め、その振興を高める目的で八日市産業フェアを開催した。また、この年10月には、八日市市公設地方卸売市場が、竣工された。

世界、日本のできごと

- 6月12日 北海道博覧会開幕（札幌）
- 6月23日 東北新幹線盛岡・大宮間開業
- 10月1日 改正商法施行
- 11月15日 上越新幹線大宮・新潟間開業
- 11月27日 中曽根康弘内閣成立
- 2月4日 日本初の実用通信衛星打上げ

八日市のできごと

- 4月1日 船岡中学校開校（組合立蒲生中学校34年の歴史を閉じる）
- 4月1日 八風街道（主要地方道近江八幡員弁線）国道に昇格 国道421号となる
- 5月1日 日・米・加3カ国対抗国際親善男子ソフトボール大会開催
- 7月9日 八日市市眼科診療所開診
- 10月19日 県下初の公設卸売市場として八日市市公設卸売市場が完成
- 12月1日 第7代市長に望田宇三郎氏が就任
- 3月25日 八日市市史第1巻刊行



文芸会場



会議所会場

昭和58年度

昭和58年4月1日⇒昭和59年3月31日

- アメリカ合衆国ミシガン州マーケット市商工会議所との姉妹協定の調印式を挙行
- 八日市駅前近代化協同組合設立
- 八日市市駅前地区土地区画整理事業のための商業近代化調査を実施
- 八日市卸売団地設立構想樹立

世界、日本のできごと

- 4月15日 東京ディズニーランド開園（千葉県浦安市）
- 5月26日 日本海中部地震（秋田沖）
- 6月30日 特定業種関連地域中小企業対策臨時措置法公布施行
- 9月1日 ソ連、サハリン沖で領空侵犯の大韓航空機撃墜

八日市のできごと

- 6月30日 八日市市総合計画「ようかいち～2001への展望」（心ゆたかに美しいまちづくり）議決
- 7月15日 八日市市農業者トレーニングセンター完成
- 10月7日 核廃絶都市を宣言



姉妹協定調印式



昭和59年度

昭和59年4月1日⇒昭和60年3月31日

- アメリカ合衆国ミシガン州マーケット市に渡辺副会頭を使節団の一員として派遣する。
- 八日市産業空港誘致計画調査研究の実施
- 八日市市制施行30周年
- 役員・議員改選

世界、日本のできごと

- | | | | |
|-------|-----------------------|-------|-----------------------|
| 5月12日 | NHKが衛星放送を開始 | 3月10日 | 青函トンネル本坑貫通 |
| 11月1日 | 日本銀行、新札（一万円、五千円、千円）発行 | 3月14日 | 東北上越新幹線の上野・大宮間開業 |
| | | 3月17日 | つくば科学万国博覧会開幕（9月16日まで） |

八日市のできごと

- | | | | |
|--------|---------------------------------|-------|--------------|
| 7月16日 | 日米女子ジュニアソフトボール大会開催 | 2月21日 | 八日市幼稚園新園舎完成 |
| 10月21日 | 市制30周年記念大風まつり220畳大風飛揚（豊かに恵む八日市） | 3月26日 | 八日市市勤労者互助会発足 |

市制30周年物産まつり



市制30周年協賛イベント

昭和60年度

昭和60年4月1日⇒昭和61年3月31日

- 創立30周年記念事業特別委員会の設置
- 商業近代化計画基本構想策定事業の実施
- マーケット市使節団歓迎行事
- 結婚相談所開設

世界、日本のできごと

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 7月25日 | OPEC総会で石油（サウジアラビア・クウェート産）値下げ決定 |
| 8月12日 | 日航機、群馬県御巢鷹山に墜落。500人死亡、4人生存 |

八日市のできごと

- | | |
|---------|-----------------------|
| 4月1日 | 沖野幼稚園開園 |
| 4月1日 | 保健センターが新築、業務開始 |
| 7月24日 | 市立図書館が新築、業務開始 |
| 8月3日～4日 | 日中親善女子ソフトボール大会開催 |
| 11月15日 | 聖徳中学校全面改築工事完成 |
| 3月15日 | 御園公民館改築工事完成 |
| 3月26日 | 農業集落排水処理施設本市第1号布施町に完成 |

昭和61年度

昭和61年4月1日⇒昭和62年3月31日

- 商工会議所創立30周年記念式典を挙行、記念事業として会員親善ゴルフ大会、事業所対抗親善ソフトボール大会、事業所対抗親善ボーリング大会を実施。
- 八日市輸入品フェアを2日間、“世界はひとつ・ふれあい広場・IN八日市”のテーマのもと実施。
- 地方空港について調査研究の実施
- マーケット市に国際交流使節派遣

■ 世界、日本のできごと

- | | | | |
|--------|-------------------|--------|----------------------|
| 4月26日 | ソ連チェルノブイリ原子力発電所事故 | 11月15日 | 伊豆大島三原山、大噴火で島民避難 |
| 10月28日 | 国鉄分割民営化8法成立 | 2月9日 | N T T株上市（160万円で売買成立） |

■ 八日市のできごと

- | | | | |
|-------|-------------|-------|-----------|
| 4月7日 | 市の人口4万人を突破 | 3月31日 | 市史編さん事業完結 |
| 3月20日 | 平田駅前教育集会所竣工 | 3月31日 | 華岳山公園完成 |
| 3月27日 | 建部公民館竣工 | | |



創立30周年記念式典



会員親善ゴルフ大会



八日市輸入品フェア



記念祝賀パーティー

昭和62年度

昭和62年4月1日⇒昭和63年3月31日

- 役員・議員改選
- マーケット市使節団歓迎行事
- 滋賀空港誘致協議会設立

世界、日本のできごと

- | | | | |
|--------|-------------------------------------|-------|--------------|
| 4月1日 | 国鉄民営化でJR6社発足 | 3月17日 | 東京ドーム（後樂園）完成 |
| 9月4日 | 新電電3社（第二電電、日本テレコム、日本高速通信）市外電話の営業を開始 | | |
| 10月20日 | 東京株式市場、下落率過去最大を記録(14.9%) | | |
| 11月6日 | 竹下登内閣成立
この年NHK衛星放送、24時間放送開始 | | |
| 3月13日 | 津軽海峡線開業、青函新時代はじまる | | |

八日市のできごと

- | | | | |
|-------|--------------------------|-------|------------------------------|
| 8月26日 | 日本・中華台北親善中学生女子ソフトボール大会開催 | 1月29日 | 東海道新幹線湖東駅（仮称）設置推進協議会設立（2市7町） |
| 9月24日 | 玉園中学校新校舎竣工 | 2月29日 | （社）八日市市シルバー人材センター設立 |
| 11月4日 | 滋賀空港湖東地方誘致推進協議会設立（2市7町） | | |

昭和63年度

昭和63年4月1日⇒平成元年3月31日

- 大型店出店凍結宣言の解除が決定
- 滋賀空港誘致について、臨時県議会において、滋賀空港の予定地が蒲生・日野地区に決定
- 滋賀文化女子短期大学誘致が決まる
- マーケット市に国際交流使節団派遣

世界、日本のできごと

- | | |
|--------|--------------------|
| 4月10日 | 瀬戸大橋開通 |
| 12月24日 | 消費税導入など税制改革法案成立 |
| 1月7日 | 昭和天皇崩御、翌日から元号平成に改元 |

八日市のできごと

- | | |
|-----------|-------------------------|
| 8月16日～21日 | 日中友好親善女子ソフトボール大会開催 |
| 8月23日 | 臨時市議会にて議員定数を22人から20人へ削減 |
| 9月5日 | 八日市布引工業団地竣工 |
| 10月1日 | 在宅老人デイ・サービス事業開始 |

平成元年度

平成元年4月1日⇒平成2年3月31日

- 平成2年3月24日、八日市商工会議所青年部設立総会挙行
- 会館建設企画委員会設立
- 滋賀空港地域開発推進協議会設立

世界、日本のできごと

- | | | | |
|------|-------------|--------|------------|
| 4月1日 | 消費税（3%）スタート | 9月4日 | 日米構造協議はじまる |
| 6月2日 | 宇野宗佑内閣成立 | 11月10日 | ベルリンの壁崩壊 |
| 6月3日 | 中国北京市で天安門事件 | | |
| 8月9日 | 海部俊樹内閣成立 | | |

八日市のできごと

- | | | | |
|-------|--|-------|---------------------|
| 4月15日 | 公共下水道一部供用開始
（青葉町・幸町の全部、東中野町・西中野町・東今崎町・野々宮町・聖徳町・ひばり丘町、春日町、聖和町、沖野1丁目、沖野2丁目、東沖野2丁目の一部） | 9月3日 | 市道八日市芝原線開通 |
| 7月1日 | 湖東大阪線（仮称）鉄道建設期成同盟会設立（3市14町） | 3月7日 | 「大風と緑のまち」シンボルマーク決まる |
| 8月18日 | 雪野山古墳で四世紀の未盗掘の竪穴式石室発見（石室内から三角縁神獣鏡など出土） | 3月29日 | 近江鉄道新駅「大学前駅」開設 |

平成2年度

平成2年4月1日⇒平成3年3月31日

- 役員・議員改選
- 会員組織率50%突破
- 新八日市商工会議所会館 市への助成要望
- 八日市駅前土地区画整理事業起工式
- マーケット市に国際交流使節団派遣
- 八日市商工会議所報月刊発行開始

■世界、日本のできごと

- 5月25日 通産省、大店法による出店規制緩和を通告
- 6月10日 日系人アルベルト・フジモリペルー大統領就任
- 10月3日 東西ドイツ統一
- 11月29日 国会百周年記念式典開催
- 12月2日 ソ連ソユーズで日本人最初の宇宙飛行へ(東京放送、秋山豊寛)
- 1月17日 イラク、クウェート侵攻し湾岸戦争勃発

■八日市のできごと

- 4月12日 滋賀文化短期大学開校第1期生入学式
- 6月6日 移動図書館スタート
- 10月1日 ねりんピック'90びわこ大会ゴルフ交流大会開催
- 10月25日 市営住宅ひばり丘団地建替事業第1期工事完成
- 12月3日 八日市駅前土地区画整理事業起工式
- 3月1日 滋賀中部地域行政事務組合発足(消防組合、湖東伝染病舎組合、広域市町村圏協議会他を統合)



八日市駅前土地区画整理事業起工式

平成3年度

平成3年4月1日⇒平成4年3月31日

- 八日市商工会議所会館起工式
- 商業活動調整協議会設置規程の廃止・八日市商業まちづくり委員会設置
- マーケット市使節団歓迎行事
- 「びわこ空港」第6次空港整備計画に組み入れられる
- びわこ空港地域開発推進協議会設置

■世界、日本のできごと

- 6月3日 長崎雲仙普賢岳、大火碎流発生
- 8月19日 ソ連保守派のクーデター失敗
- 9月14日 経済企画庁、「平成景気」は「いざなぎ景気」を超えたと発表
- 11月25日 宮沢喜一内閣成立
- 12月21日 ソ連邦消滅し・エリツィン大統領のロシア共和国はロシア連邦と改称
- 1月30日 大店法改正

■八日市のできごと

- 4月1日 財団法人八日市市コミュニティ振興事業団発足
- 5月25日 世界風博物館「八日市大風会館」開館
- 7月6日 布引運動公園体育館竣工(バレーボール女子日本リーグ加盟チームの招待試合ユニチカ対東芝)
- 7月21日 市議会議員選挙(定員20名)
- 3・10日 高屋集会所竣工
- 3・17日 玉緒小学校改築工事完成



八日市商工会議所会館起工式

平成4年度

平成4年4月1日⇒平成5年3月31日

魅力ある商店街、商業集積づくりへの支援を推進するとともに流通団地づくりへの推進や企業経営環境の整備に向けて、人材育成を支援し、相談室、資料室の充実により親切的窓口相談に当るなど指導相談体制の強化を図り、会員への商工情報の発信基地としての機能を発揮し、着実に前進した。

- 商工会議所新会館竣工式
- 八日市市特定商業集積整備基本構想策定
- 第3セクター法人「八日市駅前商業開発(株)」設立
- マーケット市へ国際交流使節団派遣

■ 世界、日本のできごと

7月1日 山形ミニ新幹線が開業

■ 八日市のできごと

10月1日 市民福祉センター「ハートピア八日市」竣工

10月5日～12日 中国湖南省に初めて使節団を派遣

11月11日 八日市商工会議所新館竣工

11月20日 雪野山ふるさと街道(雪野山トンネル)開通

11月24日 八日市市農業協同組合新館竣工

3月31日 滋賀中部地域行政事務組合、消防本部、八日市消防署合同庁舎竣工

3月31日 雪野山歴史公園、布施公園完成



商工会議所新会館竣工式

平成5年度

平成5年4月1日⇒平成6年3月31日

商業力は地域活力の泉といわれ八日市市の商業地盤沈下にクサビを打つため駅前近代化が進められ、平成5年11月地域活性化型の商店街づくり第一期工事が竣工し、人々の祝福を浴び、クス玉が割られ、通学生や通勤者や来街者の玄関である駅前に夢を拡げた。

- 八役員議員改選
- 八日市駅前ショッピングプラザ「アピア」起工式
- ピアシティ八日市オープン

世界、日本のできごと

- 6月9日 皇太子殿下ご成婚
- 6月10日 第5回ラムサール条約締約国会議が釧路で開催
- 7月8日 東京サミット開催
- 7月12日 北海道南西沖地震が発生、奥尻町など被害甚大
- 8月6日 土井たか子衆議院議長就任、憲政史上初の女性議長
- 8月9日 細川護熙連立内閣成立
- 1月29日 政治改革法案成立



マーケット市使節団との交流会

八日市のできごと

- 6月10日 満百歳祝に初めて金300グラムを贈る
- 7月1日 布引運動公園プール「ウォータービーム」オープン
- 7月17日 八日市勤労者総合福祉センター「ウエルネス八日市」オープン
- 11月1日～7日 中国湖南省常德市から初めて使節団が来市
- 11月18日 八日市駅前に「ピアシティ八日市」がオープン
- 11月26日 「近江八日市の大風揚げ習俗」が国選択無形民俗文化財に選ばれる

平成6年度

平成6年4月1日⇒平成7年3月31日

地域振興ビジョンの策定に基づいて地域プランナー派遣事業として、振興事業推進調査報告書のとりまとめを急ぎ、女性経済人の参画を求め、婦人会結成の検討、工業クラブづくりの検討にとりくみ、結実をみた。

- 八日市駅前ショッピングプラザ「アピア」オープン
- 八日市カードシステム協同組合設立
- 求人求職フェア
- 八日市市と中国常德市 友好都市協定締結

世界、日本のできごと

- 4月25日 羽田孜連立内閣成立
- 4月26日 中華航空機、名古屋空港着陸に失敗（死者264人）
- 6月29日 村山富市自社さ連立内閣成立
- 9月4日 関西国際空港開港
- 10月4日 北海道東方沖地震が発生
- 10月13日 大江健三郎、ノーベル文学賞受賞
- 1月17日 阪神淡路大震災が発生
- 3月20日 営団地下鉄の車内に猛毒ガスサリンまかれる（死者11人、被害者約5,500人）

アピア



八日市のできごと

- 6月2日 八日市駅前ショッピングプラザ「アピア」オープン
- 8月15日 中国湖南省常德市と友好都市締結調印（市制40周年記念式典）
- 8月15日 プライス・ヘンリー・デュアフェルト氏に名誉市民の称号を授与（第1号）
- 12月1日 第8代市長に中村功一氏が就任
- 2月5日～7日 阪神・淡路大震災被災者第1回ショート・ステイ受け入れ
- 3月22日 聖徳中学校体育館改築工事完成
- 3月31日 国道421号 近江八幡・八日市間バイパス開通



求人求職フェア

平成7年度

平成7年4月1日⇒平成8年3月31日

多年に亘り苦勞を続けてきた駅前近代化事業「ピアシティ」の完成。反面、空き店舗再利用の対策案を練り、まちかど情報館構想の実現に向け、市の財政支援を得てオープンした。面白い商店街づくりで集客を合言葉とするまちかど博物館の第1号館が開館された。

- 八日市商工会議所婦人会設立
- 八日市工業クラブ設立
- 商徳塾の開設
- サンデー二五八市実施
- ピアシティグランドオープン

世界、日本のできごと

- | | | | |
|-------|---------------------|-------|---------------|
| 5月 | 北朝鮮が米の支援を要請 | 11月 | 野茂英雄が大リーグで新人王 |
| 6月27日 | 全日空機、ハイジャック発生（函館空港） | 1月11日 | 橋本龍太郎内閣成立 |
| 7月1日 | PL法（製造物責任法）実施 | | |

八日市のできごと

- | | | | |
|-------------|------------------------|-------|-----------------------------|
| 4月1日 | 県看護協会が訪問看護ステーションを開設 | | を披露 |
| 5月27日 | ホープタウン布引台の第1期分譲(51戸)開始 | 3月23日 | 2市7町が「滋賀中部地域の防災に関する応援協定」を締結 |
| 6月1日 | 市道尻無柴原南線（延長1.1km）供用開始 | | |
| 9月11日 | 第1回市民ふくし大学開講 | 3月28日 | 日野記念病院八日市西診療所竣工 |
| 9月22日 | 中国湖南省常德市から最初の研修生受入 | | |
| 9月30日～10月1日 | 第19回全国育樹祭で八日市大風 | | |



びわこ空港建設促進緊急集会



商徳塾（本町商店街旧住井歯科医院）



平成8年度

平成8年4月1日⇒平成9年3月31日

経営改善普及事業の効率化を図るため、情報処理機器を導入し情報化モデル事業を推進。全国の「市」名のつく市町に呼びかけて開催された八八八フェスティバルやセミナーに積極的支援を実施した。

- 役員・議員改選
- 創立40周年記念式典、記念講演会、記念誌発刊
- 八日市まちかど情報館オープン

■世界、日本のできごと

- | | | | |
|-------|---------------------------|--------|-------------------------|
| 4月17日 | 日米安保共同宣言発表
金融・証券機関の破綻 | 9月18日 | 野茂英雄、大リーグでノーヒットノーラン達成 |
| 4月24日 | オウム真理教 松本被告初公判 | 12月18日 | ペルー日本人大使公邸で人質事件発生 |
| 6月19日 | 住専処理法案成立 | 1月2日 | ロシアタンカーナホトカ号、日本海で重油流出事故 |
| 7月 | O-157が全国で猛威
イギリスで狂牛病騒動 | 3月11日 | 大阪ドーム球場開場 |

■八日市のできごと

- | | | | |
|----------|------------------------------|-------|----------------------------------|
| 4月20日 | 本町商店街に「八日市まちかど情報館」オープン | 9月29日 | 本市第1号の公設民営学童保育所「にこにこクラブ」開所式 |
| 5月1日 | 子どもセンター「ひばり」開所 | 1月12日 | 子ども議会開催。小学生17人が代表質問に立つ |
| 7月13日 | し尿処理施設更新工事が完成（愛称は「クリーンぬのびき」） | 2月16日 | 市消防団が福井県三浜町で重油回収のボランティア活動（有志46名） |
| 7月22日 | 長山公園に「子ども・老人ふれあいグラウンド」オープン | | |
| 8月8日～11日 | 八八八フェスタ（「市」のまちサミット他）開催 | | |



八日市まちかど情報館オープン



創立40周年記念式典



八八八フェスタ 第2回市のまちサミット



創立40周年記念講演会

平成9年度

平成9年4月1日⇒平成10年3月31日

多年に亘る懸案であった部会の再編成を終え新役員を選出し、部会活動を積極化する体制をつくり、会員の意見交換、研修の場を持つための計画づくりが進められました。

- 仕事と介護の両立支援事業の実施
- 市長、市議会議長へ「近隣町との合併に関し提言」を実施
- びわこ空港アセスメントの実施について県知事へ要望活動
- マル経融資が拡充され本枠550万プラス別枠450万円となる
- 八日市まちかど博物館 大通り風物時代館オープン

世界、日本のできごと

- 4月1日 消費税5%に引上げ
週40時間の法定労働時間制、中小企業にも適用
- 4月23日 ペルー日本大使館人質事件解決
- 7月1日 香港が中国に返還
- 8月31日 英国ダイアナ元皇太子妃が交通事故死
- 10月1日 長野新幹線開通
- 11月17日 サッカー日本代表W杯出場決定
- 12月8日 京都で地球温暖化防止会議開催
- 12月9日 介護保険法成立
- 2月2日 郵便番号7桁化
- 2月7日 長野冬季オリンピック大会開催

大通り風物時代館
オープン



八日市のできごと

- 4月15日 老人福祉センター「延命荘」開所
- 5月6日 小脇町宮会館改築工事完成
- 5月17日 大通り風物時代館がオープン
- 10月24日 子ども110番ハウスの設置
- 1月25日 布引運動公園弓道場竣工
- 3月27日 廃食油再生燃料製造装置起動



「びわこ空港アセスメント」県知事へ要望活動

平成10年度

平成10年4月1日⇒平成11年3月31日

八日市市長あてに「中心市街地活性化対策に関する要望」を提出、TMO問題と基本計画づくりに当所のまちづくり委員会の意見を反映し、八日市の個性をアピールするための対策を強く要請した。

- 労働力確保事業対策として、求人・求職フェアを実施
- 中国語会話教室の実施
- 事務事業の情報共有化、LANシステム構築、ホームページ開設
- ようかいちタウンマップ発行

世界、日本のできごと

- 4月5日 明石海峡大橋開通
- 7月30日 小淵恵三内閣成立
- 1月1日 欧州に新通貨ユーロ誕生

八日市のできごと

- 4月1日 「安心で安全なまちづくり条例」施行
- 4月1日 「子ども未来夢基金」創立 第1号の寄付
- 6月13日 八日市駅舎と駅前広場の竣工



求人求職フェア



ようかいちタウンマップ

平成11年度

平成11年4月1日⇒平成12年3月31日

「街の活性化施策等に関する提言・要望について」近隣町との合併問題、公衆トイレの設置、中心市街地活性化に向けての基本計画策定について、また景気対策・中小企業対策・税制改革・街づくり対策等中小企業活力強化に関する要望を行う。

- 新規大卒等就職フェア、2000スプリングフェアin八日市実施
- 会員事業所の取引照会情報のデータベース立ち上げ
- 商店街売上増進緊急支援事業(がんばれ商店街事業)招待会の実施
- 第27回東近江びわ湖まつり統一行事&第30回聖徳まつりの実施

世界、日本のできごと

- 6月 完全失業率、過去最悪の4.9%を記録
- 7月12日 ニューヨーク株式、1万2000ドル突破で新高値を記録
- 8月9日 国旗国家法成立
- 9月30日 東海村の核燃料施設で国内初の臨界事故
- 12月 コンピュータ2000年問題



第27回東近江びわ湖まつり統一行事&第30回聖徳まつり

八日市のできごと

- 4月1日 「八日市市環境基本条例」施行
- 6月 JAグリーン近江本店駐車場に八日市やさしい村がオープン
- 7月1日 八日市市・永源寺町・五個荘町および能登川町介護認定審査会共同設置
- 8月18日 子育てサロン「チャオ」オープン
- 8月 第1回 平和祈念展を開催
- 12月5日 第1回 第九 八日市
- 1月11日 金屋総自治会が本市初の近隣景観形成協定を締結
- 2月3日 ふれあいホットステーション開設
- 2月29日 市営ひばり丘団地の建替が完了
- 3月24日 基本構想「新総合計画」(みんなのちからで築く元気なまち「やさしさ」と「たくましさ」あふれる緑園文化都市)議決



新規大卒等就職フェア

平成12年度

平成12年4月1日⇒平成13年3月31日

中心市街地が空洞化し、停滞している現状から、中心市街地活性化法の適用を受け、市においては基本計画の策定、それに基づくTMO構想については、八日市商工会議所が策定者となり、精力的に委員会、並びにワーキング部会を開催し、TMO構想を取りまとめた。

- 不用品バンク事業「E-さいくる館」オープン
- 宿泊施設等ホームページの開設
- 2000求人・求職フェアの実施
- 短時間労働者雇用管理改善等事業の実施
- 商店街世紀越しイベント

世界、日本のできごと

- 4月1日 介護保険制度がスタート
- 4月5日 森喜朗内閣成立
- 6月1日 大規模小売店舗立地法が施行
- 6月29日 雪印乳業食中毒事件
- 7月1日 2千円札がデビュー
- 7月12日 大手百貨店そごうが民事再生法申請
- 9月2日 噴火により三宅島全島避難
- 12月1日 B S (放送衛星) デジタル放送開始
- 1月6日 中央省庁再編スタート
- 2月28日 ハワイで愛媛県の漁業実習船えひめ丸が、米海軍原子力潜水艦と衝突、沈没
- 3月28日 地球温暖化対策の国際協定である京都議定書からの離脱を米国が表明

八日市のできごと

- 4月1日 情報公開制度スタート
- 6月16日 「万葉の郷ぬかづか」がオープン
- 8月1日 都市計画道路3・4・8東本町建部瓦屋寺線(内環状線)供用開始
- 10月1日 「人権尊重のまちづくり条例」施行
- 12月1日 国立滋賀病院開院
- 12月31日 タイムカプセルを埋設(2020年8月15日開封予定)
- 3月15日 糠塚町生産組合が県内初のエコファーマーに認定



E-さいくる館

平成13年度

平成13年4月1日⇒平成14年3月31日

商工会議所創立45周年記念事業として、「みんなで知ろう伸び行く八日市の産業」をテーマに18年振りに産業フェアを開催し、八日市の物産、産業の全容を紹介し、市民をはじめ近隣住民の郷土産業に対する意識の高揚と理解に大きな成果を果たしました。

- 創立45周年記念講演会
- 全国統一の役員、議員の改選

■ 世界、日本のできごと

- | | | | |
|-------|---------------------|------|----------------------------|
| 4月26日 | 小泉純一郎内閣成立 | 1月1日 | 欧州単一通貨ユーロの現金流通がEU圏12カ国で始まる |
| 9月11日 | 米国同時多発テロ | 2月2日 | 雪印食品偽装牛肉事件 |
| 9月10日 | 国内初の狂牛病発見 | | |
| 10月7日 | 米国がアフガニスタン空爆、タリバン崩壊 | | |

■ 八日市のできごと

- | | | | |
|-------|-----------------------------------|-------|----------------|
| 4月20日 | 雪野山古墳の出土品が国の重要文化財に指定 | 3月25日 | 水道水源保護に関する条例制定 |
| 5月26日 | 韓国統營文化院と八日市市教育委員会が「文化交流協定」を締結 | 3月25日 | アミティあかね竣工 |
| 3月18日 | 元気なまちづくり推進事業第1号に「建部地区まちづくり委員会」を認定 | | |
| 3月19日 | 「河辺いきものの森」がオープン | | |



2001八日市産業フェア（アピアホール4F）



創立45周年記念講演会

平成14年度

平成14年4月1日⇒平成15年3月31日

全会員1,250会員を職員がすべて訪問し、ご意見を聞き、会議所活動に参画をお願いする「こんにちは商工会議所です」活動の実施。

- 本町商店街アーケード改修工事完成
- 開市記念祭「八日市は妖怪地」の実施
- 八日市商工会議所中国常德市友好親善経済視察
- 共済加入者感謝のつどい

世界、日本のできごと

- 4月1日 ペイオフが一部解禁
- 5月28日 経団連と日経連が統合し、日本経済団体連合会が発足
- 5月～6月 サッカー、ワールドカップ日韓共同開催
- 8月5日 住民基本台帳ネットワークが稼動
- 9月22日 初の日朝首脳会談が実現
- 10月 世界同時株安の様相、世界的IT不況
- 12月1日 東北新幹線(盛岡-八戸)が開業
- 12月10日 ノーベル賞初のダブル受賞(化学賞:田中耕一氏、物理学賞:小柴昌俊氏)
- 1月 SARS(新型肺炎)がアジア各国を中心に猛威をふるう

- 1月31日 02年平均の完全失業率が5.4%と過去最高を記録(総務省発表)
- 3月20日 イラク戦争勃発

共済加入者感謝のつどい



八日市のできごと

- 4月1日 東近江東部地域合併協議会を設置(1市3町)
- 1月11日 コミュニティバス「ちょこっとバス」試験運行開始
- 3月25日 国道421号 妙法寺・五智間バイパス開通
- 3月31日 外環状線 国道421号・県道栗見八日市線間開通
- 3月31日 東近江東部地域合併協議会を廃止



中国常德市友好親善経済視察

平成15年度

平成15年4月1日⇒平成16年3月31日

中心市街地の活性化は、八日市の重要な課題であり、国・県・市の支援のもとに取り組み、14年度に施行した「本町アーケード」事業に続き、15年度には、「石畳舗装事業」を実施した。

市町村合併について、1市4町の枠組による合併推進とあわせ、能登川町を含む1市5町の合併実現を目指すよう、市長、議長に申し入れを行う。

- 滋賀県商工会議所青年部連合会10周年記念式典
- 中国常德市へ経済視察団派遣

世界、日本のできごと

- 5月23日 個人情報保護法が成立
- 6月6日 有事関連法が成立
- 7月 宮城県北部連続地震(負傷者675名)
- 12月1日 地上デジタル放送が関東、中京、近畿の3大都市圏で開始
- 12月9日 イラク復興支援特別措置法に基づく自衛隊派遣が決定
- 12月14日 フセイン元イラク大統領を8ヶ月ぶりに拘束
- 1月3日 米航空宇宙局(NASA)の無人火星探査

- 車「スピリット」が火星に着陸
- 1月12日 山口県で日本国内では79年ぶりとなる鳥インフルエンザが発生
- 2月8日 イラク復興支援のため陸上自衛隊を派遣
- 3月13日 九州新幹線、鹿児島中央-新八代間で部分開業

八日市のできごと

- 4月5日 東近江農業管理センターに「八日市やさい村」常設化
- 6月27日 八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町・湖東町合併協議会を設置
- 11月 住宅展示場を活用し福祉施設にリニューアルした「ふれあいビレッジ」がオープン
- 3月13日 河辺の森駅オープン
- 3月30日 聖徳中学校武道場竣工

平成16年度

平成16年4月1日⇒平成17年3月31日

「八日市は妖怪地」のイベントは、にぎやかな百鬼夜行とともに、世界妖怪会議を文芸会館で開催するなど全国から多くの妖怪ファンが当地を訪れ交流を深めるとともに、八日市の名を広く各地に発進することができた。

- 大通り商店街において文化交流施設「風物時代館」の竣工
- 役員議員の改選
- 八日市市制50周年
- 新生東近江市誕生

■世界、日本のできごと

- 4月1日 国立大学が独立行政法人化され、国立大学法人となる
消費税総額表示が実施される
- 6月2日 三菱自動車グループによるリコール隠し発覚
- 10月 新潟県中越地震
- 11月1日 日本銀行、新札(一万円、五千円、千円)発行



風物時代館竣工

■八日市のできごと

- 4月1日 ちょこっとバス本格運行開始
- 8月15日 八日市市制50周年記念式典
- 2月11日 旧八日市市・旧永源寺町・旧湖東町・旧愛東町・旧五個荘町・1市4町合併、新生東近江市誕生



常德市友好代表団歓迎式典

平成17年度

平成17年4月1日⇒平成18年3月31日

3月15日に当会議所が設立50周年を迎えるにあたり、特別委員会を昨年より組織し、「歴史から学ぶ商工会議所の未来」をテーマとして取り組んだ。常議員・議員・青年部・女性会の皆様に「記念事業」「記念式典事業」「記念誌発行事業」の小委員会に所属いただき、それぞれの事業が有終の美を飾って実施できた。

■世界、日本のできごと

- 4月15日 尼崎のJR西日本脱線事故
- 8月 米南部で超大型ハリケーン「カトリナ」上陸
- 8月30日 原油高騰で70ドル突破
- 9月11日 衆院選で自民が296議席で歴史的な大勝
- 10月14日 郵政民営化法が設立
- 10月 インドネシア・バリ島で同時爆弾テロ
- 11月 ヨルダン・アンマンで同時爆弾テロ、イスラム過激派の犯行

■八日市のできごと

- 12月17日 東近江大橋開通
- 1月1日 東近江市・旧能登川町・旧蒲生町合併



設立50周年記念式典 テープカット

八日市商工会議所設立50周年記念事業

平成18年3月15日開催

記念式典

事業内容

- ①50周年記念誌の発行
- ②50周年記念事業の実施
- ③50周年記念式典の実施

昭和31年3月15日、戦後10年を経て「もはや戦後ではない」と云う国民意識の高まりの中、神武景気と称される高度経済成長の始期にあたり802名の会員の熱い期待のもとに八日市商工会議所は設立されました。以来、地域の総合経済団体として、組織の確立、地域商工業の発展とまちづくりに邁進してきました。昭和から平成の時代へ高度成長から低成長の時代へと幾多の変遷を経てここに半世紀の年月が流れました。

今日1,200会員を擁し活動を続ける八日市商工会議所が、50周年を契機として更なる発展を遂げるため会員、議員共に50周年を祝い記念諸事業を実施いたしました。



八日市商工会議所設立50周年を祝う記念式典が、3月15日、八日市商工会議所4階大ホールにおいて挙行されました。式典には、130名をこえる来賓、および関係者列席を賜りました。



辰巳事業委員長より、中村功一東近江市長へチャリティゴルフコンペで集められた募金が贈呈されました。



式辞を述べる今宿会頭



永年に亘り、役員、議員に就任され、当所運営と地域商工業の振興発展にご尽力を賜った方や、極めて優れた技能を有し、他の技能者の模範となられている方々にその功績をたたえ、感謝状が贈呈されました。



エイサーと和太鼓の演奏が会場を一層盛り上げました。

記念講演会



熱弁する三宅久之氏



三宅久之氏の講演会には、定員を超える400名近い方々が参加しました。



女性会のみなさんによるお茶会



スタンプラリー大抽選会



延命保育園鼓笛隊のみなさんの演奏



昔なつかしい街頭紙芝居



青年部による映像で見る50年



なつかしい八日市パネル展



チャリティゴルフコンペ



八日市商工会議所設立50周年記念事業として、平成17年9月26日、名神八日市カントリークラブにおいて、チャリティゴルフコンペを開催しました。当日は、153名のご参加を頂き、盛大に開催することができました。



愛・地球博視察



八日市商工会議所設立50周年事業として、1回目、6月7日、2回目、9月8日に、愛・地球博を視察しました。人気のパピリオンには、長蛇の列ができ、大勢の人で賑わっていました。

East Rainbow☆イベント



East Rainbow☆イベントに協賛

大凧まつり



大凧まつりで8畳大凧を飛翔(青年部)

聖徳まつり



聖徳まつりのエアアーチ



「八日市らしく 八日市らしい おもてなし」

手は、みんなを差別も区別もせず人を包む心を
鳥は、緑豊かな八日市を窮屈な思いをせずに飛べる街を
おもてなし、「もてなす…人を丁寧に取扱う」
「表なし…表なし裏なし対等な接し方」
の意味を込めました。

歴史から学ぶ 商工会議所の未来、 これからのまちづくり

八日市商工会議所は、平成18年3月15日をもって設立50周年を迎えました。地域の総合経済団体として、この50年間、地域商工業の発展とまちづくりに邁進してきました。

過去にとらわれずに未来志向でまちづくり、会議所のあり方を考えていくことは大事なことでありますが、やはり町の歴史、発展過程・特徴などを把握しながら未来を見据えていくことは不可欠なことであります。そうした事から、先ずわがまち八日市の歴史観から学び、これからのまちづくりについて、商工会議所が、今後新たな活動を推進していく提言を、「設立50周年記念座談会」において記念誌に企画いたしました。

3月6日、下記のとおり、コーディネーターとパネラー5名において、座談会を開催、今後のまちづくりにおいて、みなさん熱く語っていただきました。



司会・コーディネーター
田中敏彦氏
八日市商工会議所副会頭
（株）山彦 代表取締役



パネラー
西川和宏氏
青年部直前会長
（有）トラハイ 取締役



パネラー
佐藤祥二氏
（社）八日市青年会議所副理事長
佐藤贈答 経営者



パネラー
藤田恵子氏
青年部広報渉外副委員長
（株）藤田製作所 総務主任



パネラー
井上由美氏
八日市郷土文化研究会 理事
（株）井上製菓 専務取締役



パネラー
辰巳育男氏
八日市商工会議所常議員
松下電器産業（株）松下ホーム
アプライアンス社家庭電化グ
ループクリーナービジネスユ
ニット 総務課長





昭和30年頃の商工会館

■ 会議所の歴史 ■

田中●対談のテーマが歴史から学ぶ八日市商工会議所の未来ということで歴史のひもときのような感じで少し簡単に説明させていただきます。まず、大正4年に八日市に飛行第3連隊というのが設置され、当地の商売人が軍人さんの御用達商人になろうと組合を作って組合に入らないと商いをさせないということが最初の商工団体の起源ということらしいです。八日市商工会の結成というのは旧八日市町から助成金のおりた昭和12年ごろ、これが八日市商工会の結成ということでスタートしたのですが、すぐに戦争となり、ほとんど活動できないようなかたちとなりました。商工会議所に昇格したいということで色々申し出があったらしいが、大津、彦根、長浜、近江八幡ぐらいにしか商工会議所がなく、そのの合意が必要であるとのことをお願いに行ったが、八日市の規模では無理だということで、できませんで



た。そこで直接通産省に出向き、許認可をいただき昭和31年2月8日に八日市公民館で648名が出席して創立総会を開催しました。3月15日付けで通産省から設立許可書をいただきました。設立当初は終戦から高

度成長にむかって発展していく過程での商工会議所でしたので、いろんな事業がありました。卸売市場や大阪チェーンストアというのが本町通りにあったのだが、その反対運動をしたり、えびす講や、大売出しなど商店街の繁栄に係わってきました。大日本トランプやコンクリート工場の設立に関わったり、近くは共同自動車の設立などいろんな形でプロジェクトのようなものもありました。ただ、当時の様子を見てみると、いざなぎ景気や日本の景気の変動にあわせて、八日市の経済も変動してきたかというとはなく、日本経済の影響下にはなかったようです。ただ昭和39年に名神インターチェンジができたころから工場誘致が進み商工業の商の部分でなく、工の部分が発展してきました。そして3月15日に50周年を迎えることになるわけですが、ひとりひとりの思いを歴史のひもときのような観点から話していただければと思います。

辰巳●商工会議所の歴史について今話があったのですが、私と商工会議所との関わりは7年前からです。昔のことはわからないが松下電器産業(株)は昭和46年に林田に来て、私は昭和48年に八日市へ来ました。大阪にいたので交通の便のいいところから辺鄙なところへ来たという印象であり、交通機関がないのでまずは車の免許を取らないと、そこからのスタートという記憶があります。私が一番危惧しているのは、市町合併で大きな東近江市になったのですが、本当の八日市という名がどうなるのか、例えば名物のようかいち大風がありますが、ずっと八日市大風でいくのでしょうか。私たちが住んでいるところをよそにPRして行こうと思ったときに、今後八日市で行くのか、その辺の考えをみんなではっきりさせて広域で物事を考えていかないと、何も進まないという気がしています。

井上●「八日市」という地名のお話が出ましたが、広域になってもやはり、八日市には八日市の地域性があり、本年合併された新生東近江市の中にも、それぞれの地域の枠組みが根強くあるように思います。旧五個荘町など、合併後にも、地名の一部を残しておられるように、地名や町の成り立ちに良い意味でこだわりを持ってこられた方が多かったのでは

よう。広域になって、日常的に戸惑っていることは新しい地名の実際の所在地がイメージし難くなったことです。行政の方も何かの申請等に行くと「旧、何処ですか?」と聞かれます。成立する新市の名だけではなく、もう少し各地域名の変更に関しても配慮ができていたら良かったように思います。事業者の立場からは、地名が変わったことで商標表示等の関係で一時的ではありますが、様々な費用が発生しました。生産資材の在庫等、合併協議から新市成立までの期間のみならず、現在まで移行措置に問題をかかえています。単に地名が変わったというだけで終らせないでいただきたいですね。

藤田●私は高度成長期全盛のころに八日市に生まれ、八日市に育ち、ずっと八日市で生活しています。当時の商店街について、本町通りは人で通れないほどの賑わいで、金屋大通りもそのような感じであったと母から聞いています。小学校、中学校と進むにつれ、大型店が進出してきて一般的なまちとして八日市が成長するのと同時にそれによって商店街が衰退するというのを見てきて育って、今の商店街の元気のなさにすごく寂しい思いをしています。中心市街地がこれだけお店をたたむという現状が仕方ないことなのかなと思うのですが、もう少し個性のある商業展開をして、個性のある街づくりをしていけたらいいなと思うのです。市町合併については、各地区に観光の拠点はあるが、結局それが各地区のものとしてしか捉えられてなく、東近江市という一

体感がまだまだない。東近江市になったから今度はその拠点を繋いで、観光として人を呼ぶというかたちにもっていき、今までの1市6町の垣根をこれからとっていかなければいけません。もっと一体感を持ってみんなが東近江市という全体でものを見られるように活性化していけたらいいなと思っています。



西川●私も、本町通りの近くに住んでいまして、小さい時には市神さんとかでよく遊んでいまして、本町通りが賑やかだったのが、とても印象的であります。山の方へいきますと、延命寺山に遊園地がありまして、

コーヒークップとかレーシングカー等いろいろなものがあり、遊んでいた記憶があります。現在、少子化、核家族化問題、年寄りと同居しない家族が増えてきています。経験豊かな話、自分が経験したことを若い人に、そして子供たちに教えていくことが大事です。歴史があることしん跡を利用して、そういう場所を交流の場として利用できたらいいと思います。歴史を学び、そしてそれを継承していく



という事は本当に大事な事ではないかと思えます。

佐藤●商工会議所との関わりはこちらに来て約14年ほど経ちます。東近江となり八日市であったものを真っ白にするほどの、新たに作り出すパワーが我々に必要だと考えます。当時の商工会議所は、どうしても必要だという熱き思いから作り出されたのではないのでしょうか。今我々が過去を振り返りながらノスタルジックに浸る場合ではなく、新たな東近江市の八日市商工会議所のメンバーだという認識を今一度持つことだと思います。商業の歴史とともに戦後の日本の人の心の移り変わりを私なりに見ますと、我々の親父世代は家族のために寝る間を惜しんで仕事をされています。その親父の後ろで育った子供は何不自由ない多分我々世代だと思います。何不自由ない全てを与えられる世代の我々は何を考えるかといういろいろなマスメディアに影響されてよしあしの区別を自分なりに考えていくべき大人になっていくのです。その大人が子供を持つとどうなるのかということ子供の教え方、子供をどうしていいのかわからない、自分のストレスを全て子供に与えてしまう、自分に自信がないのか、しっかりと自分の後姿、生き様を見せられないのです。商売も人づくり、教育であると思います。同居法を作りなさいとJCで言っているのです。同居をすることによって歴史は血で繋いでいこうと、ここに何があったからといつまでも追っている人間進歩はないので歴史は血で繋ぎなさいと、方言でも何でもという思いでこの会議所の発展の一助となればいいのかと思います。



■ 地場産業の可能性 ■

田中●はい、ありがとうございました。それぞれに意義のあることを言っていただきました。現在、東

近江市には1つの商工会議所（八日市）と6つの商工会（6町）があります。1市6町が東近江市になったので1つの商工団体が出来ればいいのですが、それが法律的にできません。だから今まで通り八日市商工会議所として存続していくわけなのです。県の指導としては概ね2～3年以内に商工会同士は合併しなさいという話が出てはいるのですが、なかなか地域色が強く、一度に統合というのは難しいのです。まして1市6町が一緒になるには厚い法の壁があります。当面今までの八日市のテリトリーで八日市商工会議所というのは存続していきます。逆に近江八幡商工会議所と八日市商工会議所は商工会議所同士であるので合併できるようになりましたが、行政区画が同じ同士が一緒になれず、違う行政区画とは合併出来るというのも不思議な話です。しかし、それはとも角として八日市商工会議所のテリトリー内に地場産業や観光資源といったような人が呼べるようなものが果たしてあるのか？また、1市6町合併して相乗効果を高めることが出来る町づくりの可能性があるのでということをご意見があれば言って下さい。

井上●地場産業というかたちで認めてもらえるかどうかは、それぞれの産物をつくっておられる方々の力量によると思います。地場産・特産といいますと、その地の風土や生活文化が土壌となって根付くものと思います。又、それを観光事業に結び付けていく為には、ある程度の歴史的な裏付けが必要だと思います。八日市に住んで15年ですが、私にとってこの地はとても魅力あるところだと思っています。以前の記念誌の座談会では、「渴いた町」だという表現がありましたが、渴いているどころか古くから重要な文化財や歴史的背景を持ち、長い歴史の中でテーマを絞り込むことに迷うほど、潤いのある町だと思います。特に万葉集ゆかりの蒲生野には古代史のロマンを彷彿とさせられます。また今後は豊かな自然環境の中で生み出されている産物を大切に、循環型産業を視野に入れ地場産業と歴史的背景を調和融合させた何かができないかと考えています。八日市には、八日市郷土文化研究会があり、長年にわたり八日市やその近隣の様々な郷土文化の研究と継承を広げ郷土愛を育てていこうという文化活動がなされ

ています。昨年、八日市と旧6町の文化研究会の交流会が催され、お互いに利害関係を持たない文化団体の交流は非常に良いムードで融合できていました。地域住民の方々と商工業者との間で観光や文化事業に対する考え方に何かギャップのようなものが感じられます。そういったことも観点に入れていただけたらと思います。

❑ 商工会議所の存在意義 ❑

田中●次は八日市商工会議所が果たしてきた役割、商工会議所に対するイメージ、注文などがあれば聞かせて下さい。みなさま方、商工会議所のことを知って下さっているのですが、果たしてどの程度地域に認知されているのか、存在意義があるのか、ということまで聞かせてほしいと思います。

佐藤●商工業者と会議所の意識の違いはすごく感じます。魅力あるまちがある、動かそうとすると1企業の力は、もちろん大きければ大きいほどこちらに向きやすくて商業地、観光地になると思います。動かす原動力の一躍を担うのが商工会議所ですが、意見を吸い上げてくれる部分が不足しているかなと思います。

西川●青年部は、まだまだこれからだと思っています。歴史においてもJCとは30年の差があります。諸先輩方が築いて来られようやく皆様に覚えられました。本当に今、勢いはあります。ですが親会があつての青年部ですので、品格というものが付いてきます。どの事業においても品格のある事業をしていかなければいけないと思います。商売においてもそうですが、品格のない只儲けりゃ良いんだとどんな手段をしてでも金儲けに走っているのは、長続きはしないと思います。やはり、品格があつてこそ世

間にも認めてもらえ、商売においても絶対に必要な物だと思います。

藤田●現在商工会議所の会員さんが何社あるのか詳しくは知りませんが、運営については、一部の会社の中で持ち回りして運営が事務局とその一部のメンバーでまわっていると思われます。慣れという面ではいいのですが、せっかく入ってもらった会員さんに、広く商工会議所に関わりを持ってもらうことが大事だと思います。何か全体をうまく巻き込んでいくような運営方法や、事業展開、例え年1回でもいいから会費を払って商工会議所に入ってよかったなと思えるようなことを事務局が考えるべきであり、更に会員が役員会などで広く呼びかけて、巻き込んでいく事業が必要ではないかと思います。



辰巳●会議所の活動で委員会、部会活動はあるがこれを根本的に変えなければならないと思うのです。部会は業種で分けているが、会議所は文化的な東近江全体を見たもので分けるなどの役目が必要と思います。結構自分の思いのものをやると出てくる人も結構あると思うのですけどね。昔は組合を作って自分のところにメリットがあったから、商売的にも集まったという効果があったのですが、今はその時代でないのですね。しかし会議所に何を求めるかということも考えて委員会や部会組織がこれだけ時代の流れが変わってきているのに従来以前の考え方でや



っているイメージが強いのでそこは何かメスを入れなければと思います。八日市の進出企業の集まっている八社会の組織があつて昭和47年くらいから続いています。どのようなメリットがあるかという、お互い

の情報を聞いたりとか、人事制度はどうかとか、業界の事柄の確認だとか、会社にとって参考になるテーマを出し合い、幹事会社は順番制で活動していることです。お互いが必要性を感じる会であれば絶対にうまくいくだろうと思います。八日市や東近江全体をよくしていこうという部会もあれば、時代の変化に対応していこうとする部会もあります。今までの業種業態でなく、違った枠組みでの委員会・部会も出来るのではないだろうかという思いを持っています。

井上●商工会議所は事業資金の相談や講習会への参加等で利用させていただいています。イメージとしては、日本商工会議所という大きな団体に繋がっているの、世論の形成やそれに影響を及ぼせる団体であると思います。また異業種の会員間の繋がりやコラボレーションが今後の活動のキーワードとなって地域での世論をつくり出せる原動力となることを期待しています。

❑ 心のふれあい ❑

田中●ありがとうございます。非常によい意見を聞かせてもらったと思います。歴史から学ぶ商工会議所の、まさに未来です。未来にどういうことをやっていくか、近々どういうことをやっていくかということです。そこで民の力というか、そういったものを最大限に活かしていけるような八日市商工会議所にしていけないとダメなのではないかと、私は思っています。事業は今、多方面において実施していま

す。経営相談事業や融資の監事や要望提言、いわゆる平和祈念館も八日市商工会議所が要望しました。行政当局が最大の経済団体である八日市商工会議所の提言に常に耳を傾けてくれるような強い商工会議所にならねばなりません。部会活動ですが、実際に入っておられる会員にとってのメリットというのは部会がいかに活性化でき、役に立つ部会かという事です。青年部と女性会、これらは商工会議所の一環として実施している事業であります。また「こんにちは八日市商工会議所です。」という会員事業所訪問活動で、会頭が「信頼される商工会議所」、「行動する商工会議所」、「地域と歩む商工会議所」をキャッチフレーズにしており、職員が会員さんを訪ねて経営指導をしています。さまざまな研修や情報提供、講演会等も行っています。収益事業としては、会館事業と共済事業があります。ただ、やはり県や市の補助金が大きな財源となっており、今後の課題です。他に、雇用対策でいわゆるハローワークとタイアップして東近江地域雇用対策協議会を作って事業を行い、八日市企業内人権教育推進協議会を作り、人権学習も行っています。当然広報誌も出しておりますし、いろいろ幅広く活動しているのですが、その中で直接会員さんにメリットがあると考えてもらえるような事業の比率を高めていかなければなりません。企業でいえば最大の顧客は会員さんであるから会員さんの満足、いわゆる顧客満足度を高めていく努力をしていかないと、これから商工会議所は生き残れないのではないかと思います。次に商工会議所だけでなくJ C、ロータリー、ライオンズ、ソロプチミストなどの諸団体、市内の店主や若手経営者がこの街づくり並びに地域の経済活性化に対してどのような役割を果たしてきたのだろうか…例えば、大規模小売店の進出や駅前再開発など当時としては商業の活性化につながると思い実施した諸事業がこれだけ経済が冷え込んできている中で、現在どのような反省とか評価があるのか等、また、これからの時代に合ったどのような施策が必要かなど意見があれば聞かせてほしいです。もうひとつは商工会議所と他団体との連携がもっと密にできたらと思うのですが、何か意見があればお願いします。

佐藤●昔は出店に反対の動きがあつて、今日では撤

退に反対している感じを受けます。実際働いている人は地元の方なので、還元している部分や潤っているところはあるのですが、企業倫理やモラルが失われていくのかと思います。今は「世間よし」がないのか、売り手と買い手のバランス・関係も変貌しているように思います。商売というのは礼を言ってほしいからするのではなくて、お互いの関係がよくなって、ここでよかったという関係が築かれるものです。しかし、時代も商売も希薄な関係になってきているのが不安な点です。

辰巳●松下電器産業(株)にもショッブ事業があって、電機業界そのものが量販にシフトしていった今、8:2でほとんど量販です。松下のショッブも昔は22,000軒あったが今は半分以下になっています。それでも時代背景をいかに掴むかが家電の特徴でありますし、サービスが重要となり、今後は特に少子高齢化、核家族化のなかで、高齢者の家へ行って灯かりは大丈夫かと1個の電灯からお世話をしてその中で商品を買って行くあかりサービスのようなことをしていけないと生きていけないのが今の松下のショッブ店です。そのようなサービスを提供しているところは100から120パーセントと売り上げを上げています。今までのショッブはダイレクトメールを出して、店に来るのを待っていましたが、今はその商売は衰退していています。時代のニーズやお客様のニーズに合わせていかに考えてやっていくかが大事だと思います。



生産、消費の時代を経てそれなりの設備投資も必要

となりました。今後はその維持の為に販路を広げていかないと存続できず、社会情勢の変化とあいまって経営方針見直しの岐路に立たされています。大型店の地域への参入については、これからは地域だけの問題にとどまらず、外資参入等の大きな経済問題が潜んでいる様に思います。地域社会のコミュニケーションや組織づくりも、核家族化や個人主義的な考え方が広がる中で、どのように再構築していくかが課題です。IT社会と言われていますが基本的にコミュニケーションは「心のふれあい」があってと思います。

藤田●私のところは製造業のため小売の商売のお話あまりわかりませんし、実際にお客さんの顔を見てものを売ったり、渡したりはないので聞いた話なのですが、今、お年寄りがひとり住んでいらっしゃるケースが多く、そこに宅配と一緒に心を届ける、話し相手になるという商売が盛んになっているらしいです。三世代で生活するという事は、親が年配の人を尊敬するという姿勢を見せないと、やはり自分も年をとった時に若い世代に軽んじられるような背景や子供の教育もきちんとできない親になってしまうということを自分たちの世代が作り出してしまふ。また、人間として年配の人を立ててゆく、尊敬していくという姿勢を自分の中に作って子供に見せていくことが大事だと思います。近頃、幼児虐待のような事件も多く、その原因が、親の行き詰まりであるなら、ちょっと息の抜ける人や、子供が悪いことをした時に「そんなに怒らなくてもいいよ」とか「こんなことは誰にでもあることだから」とかなだめてくれる、心を救ってくれるような関係、やはりお年寄りの知恵を借りて、今の若い親もそのような人の意見を聴くという姿勢が大切であり、構わないでとか、ほっといてとか、そのような物を切っていくような考え方はしないほうがいいと思います。

西川●私の所は、どこにでもあるような商品を扱っています。お客様がインターネット、FAXで送信すれば次の日に送ってきます。お客さまの顔も知らない、今の時代は、こんなビジネスになっています。私のやっていることは、毎日1人でも多く、自分で足を運んでお客さまの顔を見に行くということ

す。そして、自分の店にあるもので、今日聞いたものは、今日届ける、あたり前のようですがそれを常に心がけるようにしています。

❑ 東近江のまちづくり ❑

田中●非常に率直で素直な意見で、実際そのような話が聞きたいのですよ。結局街づくりは人づくりであるという話も出ました。1月の合併により新東近江市が発足し118,000人を擁する県下2位の都市の中心となり、ビジネスの観点からは地価も徐々に上がるだろうという予測ができます。ところがビジネスというのは需要を創造しないと繁栄していかないということは確かなので、これからの街づくりをしていく中で、観光も含めてどのような商業施設や観光施設があれば、東近江市の中心である八日市に人が集まってくるのでしょうか。経済的に考えるとJRのある市だというものの、それは能登川ですし、メリットは八日市でなく、能登川のほうにあるように思われます。これは1商工会議所の力ではどうにもできないが、提言とか市に対する要望であれば十分できると思いますし、これからの商工会議所の発展を考える上でも必要であると思います。商工会議所が永続的に続いていくには、会員の事業所が発展、繁栄しなければなりません。そのようなことで何かコメントがあればお願いします。

辰巳●最近思うのが高齢者の問題であります。路線バス、ちょっとバスが走っていますが、高齢者が本当にあのバスを利用しているのかなと思います。バス停には雨避け、風避け何もないです。高齢者はひとりで外に行くことも多く、移動手段として利用されると思いますけど、そこまで考えられているのでしょうか。観光にしてもバスで行こうとしてもバスは30分に1本しかない、利用してもらうためには、ちょっと座るところがあって、小屋があって、そこで話も出来て、時間を待つような雰囲気もあれば

っと利用されるのでないでしょうか。

井上●イベントに参加する際に、常に天候のことを憂慮します。行政に対して、全天候型の施設があると有難いという話をしたことがあります。「はこもの」は、時代に逆行するかもしれませんが、広域で利用できる文化・産業交流施設があればと思います。会議所から行政に対して、そういった施設に関しての提言をしていただけるのでしょうか。

❑ 商工会議所の提言活動 ❑

田中●商工会議所が提言した商業施設等はまだまだありません。直近で提言したのはいわゆる平和祈念館です。商工会議所は、市長に直接どんどん提言活動をしていきたいと思っています。いろんな意見を聞かせて下さい。

佐藤●平和記念館の話が出たのですが、2年半ほど前にJC45周年の時に掩体壕を取り上げました。中島伸男さん(野々宮神社宮司)にお願いして子供たちを掩体壕まで連れて行って説明していただき、当時のすいとんを食べるといふ企画としては安易なものです。これをするのに1年ほど前から戦争経験者の方から話を聞きました。さまざまな思いがあってもっと忠実に再現しなければとか、そんな苦労はさせたらだめだとか、その話を聞くだけでも気分が重くなりました。しかし、我々が今あることの意味を知るには、大変重要な事業であったと思います。また、長山公園は当時国体のソフトボールが八日市開催ということで、作られた経緯があるのですが、これは地域社会の環境の中で生まれ、必要とされるものが、地域の声として上がっていくのです。商業施設はあまりよくわからないが、八日市文芸会館は東近江管轄になったとお聞きしていますが、うまく使えきれていない部分があるので、施設の上手な使い方を考えていくべきであろうと思います。そして、

新たに商業施設を作ったはよいが宝の持ち腐れになってはいけないと思います。今後、会議所と一致団結、協力していく中で同じベクトルでもって何か作り出せると思います。

当時賑わっていた映画館



西川●八日市には映画館がありません。映画は、子供と近江八幡・彦根に見に行きます。地元であれば、地元に見に行くのですが…。映画に限らず、外へ出ずに市内で何もかも揃い楽しめる施設があれば、もっとにぎわいが生まれるのではないのでしょうか。こういったアミューズメント的な老若男女を問わず楽しめる複合的な施設があればいいと思います。

■ キーワードはネットワーク ■

田中●東近江市も大きくなって近江八幡市の人口の倍ぐらいになったわけですが、観光客はどれくらい来るのか、例えば愛東や五個荘など地域特性の強い所とタイアップしてこちらの市街地のほうへ人を呼べるような工夫を考えていかないといけないですね。50周年の懇親会はささやかなことですが、新地界隈を知ってもらおうと、それぞれ少人数でいろんな店に行き、夜の社交場として活性化する企画を考えています。ただこれからは商店街や中心市街地といった発想だけでなく、当然東近江市全般を見ていった中での八日市の位置づけというものを考えていかないとダメなのではないのでしょうか。そういった大きな発想でものを見ていかないといけないと思います。もうひとつ合併の中で新市まちづくり計画、

まちづくり協議会ができ、動き出そうとしています。その中で情報ネットワークというのがひとつのキーワードになっています。ネットワークというのは情報だけでなく、人的交流ネットワークや、交通ネットワークといったさまざまなネットワークの中で、一体感が深まっていくだろうと思うのですが、その辺のネットワークについて何かご意見があれば聞かせて下さい。

佐藤●ITはこれから主流になってくるだろうし、全ての商業にも我々の生活の中にも入ってくるものです。今、実際に使っているし、ケーブルテレビも実現されています。さまざまなかたちで我々に情報なり、利便性をもたらす上で、問題点が生じた時にそれを解決していくことが大切です。その解決方法としてケーブルテレビでその答えとなるものを発信してあげるとか、大人が子供に使い方をしっかりと教えてあげることなどです。東近江市や八日市商工会議所がモデル地域となるほどのITを駆使した媒体の使用により、地域に発信するというかたちが他の会議所からもお手本や見本とされるのではないのでしょうか。そのような環境が整うことにより商売の活性化に繋がるのではないかと思います。IT環境における商売には利便性もあり、インターネットショッピングもするし、ホームページを立ち上げて掲載しようと考えています。商いをする側も地域全体として取り組むことにより、堅実に商売をしているまちと見られるのではないのでしょうか。

藤田●人のネットワークというのは大事だと思います。商工会議所にも多くの会員さんがいらっしゃる、やはり相互間の情報を交換し合って人のネットワーク、例えば今集まっている5人でもこれでまた新しい輪が広がったわけですね。疑問点が見つかった時に、インターネットで調べようと思えばいくらでも調べられるし、情報も入ってくるのですが青年部のメンバーに直接聞くといった場合に商工会議所の存在というのは、仲間を活用する、知的財産を利用してお互いに情報を交換するという意味では便利だと思います。

井上●コミュニケーションが1つのキーワードにな



と思います。近江八幡市の観光ボランティアガイドさんは来訪者に対するフォローがよくできているという話を聞いています。八日市にも八日市観光ボランティアガイド協会の方々が「心の旅のお手伝い」をテーマに地道なボランティア活動をされています。しかし、十分に稼働できる環境が整っていないと伺いました。近江八幡市の観光事業の繁栄は地域の方々の熱意とボランティアガイドの方々の努力、そして近江八幡の商工業者の大きなバックアップがあってこそ成り立っているのだそうです。観光事業の根幹には、街づくりが大きく関わっていると思います。広域になって、各地域間のコミュニケーションを深め、もう一度街づくりに真摯に取り組んでいく中で観光事業が育まれていくように思います。

辰巳●ネットワークの話ですが、会議所については商工会とのネットワークづくりをしていく必要があると思います。今までは八日市市にある八日市商工会議所として、地域の中で発言をし、お互い協議も出来ました。今後は八日市商工会議所だけでなく他の商工会を含め、東近江市全体を考えていくことが重要です。足並みを揃えてもらって1つの意見として反映しなければならない部分もあるでしょう。当然独自性はあると思いますが、考え方はある程度は同じような感じでもっていかないと受ける方は商工会であろうが会議所であろうが、同じ商工業の立場の人なのでそこをどのようにネットワークを組んでいくかが今後の大きな問題になってくると思います。

田中●ありがとうございます。辰巳さん最後にいい感じで我々に宿題を与えてもらったような気がします。確かに行政はどうも後を追っているみたいで法

律や規則に縛られているように感じます。それがためにフレキシブルな対応がまったくできないような世の中で、これから商工会議所はそういったものと闘いながら存続していかなければなりません。ということで、50周年、半世紀ですか、先達が苦勞してつくった商工会議所がここまで続いてきたということで、これを機にみなさんからいただいた意見をもとに少しでも現実に結び付けられるような努力を我々もやっていかなければいけません。先ほどネットワークの話が最後にありましたけれども、また1市6町の商工会議所、商工会がもし一緒になるようなことがあれば、また会員さんもさまざまな面で人的交流もできますし、多様なネットワークも組めますし、人づくりという面でもメリットがあると思います。そういったプラスの面が見えている状況下でなかなか実現できないジレンマを抱えており、なんとか解決の糸口を探していくべきであります。これからどんどん改革を進めてがんばっていきたいと思っています。ただ少なくとも行政に囚われない柔軟な発想で商工会議所は進んでいかなければならないのは確かだと思っています。



現在の商工会議所会館

第1期 役員・議員 (昭和31年4月1日～昭和32年9月30日)

会 頭	関 司 松兵衛			
副 会 頭	今 宿 泰 蔵		小 梶 三 右 衛 門	
専 務 理 事	森 井 滄			
常 議 員	村 田 和 平 池 田 峯 次 郎 内 片 陸 郎	平 田 謙 之 助 小 島 弘 太 郎 二 橋 貞 二 郎	井 村 平 三 郎 齊 藤 香 苗 山 田 平 治	重 森 文 二
監 事	福 原 捨 次 郎		山 田 平 治 郎	
議 員	久 保 半 左 衛 門 松 本 政 治 郎 外 村 伊 八 喜 多 良 三 藤 川 勝 次 郎 奥 野 筆 吉 久 田 英 二 村 田 信 一 郎	前 川 捨 蔵 多 田 富 蔵 岩 根 宇 一 郎 梅 辻 貞 一 郎 高 村 幸 一 辻 川 敬 一 北 岸 幸 太 郎 梅 原 康 三	福 井 八 右 衛 門 田 中 外 次 郎 向 政 五 郎 山 田 隣 之 助 西 堀 栄 治 郎 尾 羽 隆 遠 藤 三 郎 仙 波 玄 一	大 橋 浜 司 西 田 藤 吉 三 浦 忠 蔵 寺 田 昇 之 助 野 畑 忠 次 郎 村 田 梅 吉

第2期 役員・議員 (昭和32年10月1日～昭和35年9月30日)

会 頭	関 司 松兵衛			
副 会 頭	藤 田 荘 太 郎		内 片 陸 郎	
専 務 理 事	森 井 滄			
常・議 員	北 岸 幸 太 郎 井 村 平 三 郎 二 橋 貞 治 郎	喜 多 良 三 重 森 文 二 齊 藤 香 苗	小 梶 三 右 衛 門 高 木 市 治 仙 波 玄 一	福 原 憲 治
監 事	山 田 平 治 郎		三 浦 忠 蔵	
議 員	奥 野 正 七 池 田 峯 治 郎 中 村 太 郎 西 沢 久 治 北 岸 光 治 外 村 伊 八 高 村 幸 一	梅 原 康 三 松 本 政 治 郎 志 賀 末 男 前 田 春 吉 福 井 八 右 衛 門 前 川 捨 蔵 辻 川 敬 一	小 梶 信 次 小 島 外 夫 梅 辻 貞 一 郎 久 田 英 二 松 吉 勝 司 西 堀 栄 治 郎 小 島 弘 太 郎	小 沢 文 助 今 宿 泰 蔵 高 田 嘉 一 向 政 五 郎 山 田 隣 之 助 小 島 晋 三

第3期 役員・議員 (昭和35年10月1日～昭和38年9月30日)

会 頭	今 宿 泰 蔵			
副 会 頭	内 片 陸 郎		西 田 藤 吉	
専 務 理 事	森 井 滄			
常 議 員	井 村 平三郎 山 田 隣之助 北 岸 幸太郎	喜 多 良 三 仙 波 玄 一 辻 川 敬 一	二 橋 貞治郎 高 木 市 治 前 川 捨 蔵	西 堀 栄治郎
監 事	奥 村 富士夫		三 浦 忠 蔵	
議 員	志 賀 末 男 福 井 八 右衛門 外 村 伊 八 梅 原 康 三 松 本 政治郎 小 梶 信 次 池 田 峯次郎 向 政五郎	村 田 梅 吉 中 村 太 郎 福 原 憲 治 北 岸 光 治 森 稔 藤 井 幸 雄 小 沢 文 助 菊 井 徳 三	松 吉 勝 司 畑 善 一 前 田 春 吉 齊 藤 香 苗 小 島 弘太郎 西 沢 久兵衛 奥 村 茂 梅 辻 定一郎	小 梶 三 右衛門 河 村 金 一 小 嶋 晋 三 野 村 承一郎 中 沢 徳三郎 久 田 英 二

第4期 役員・議員 (昭和38年10月1日～昭和41年9月30日)

会 頭	今 宿 泰 蔵			
副 会 頭	内 片 陸 郎		山 田 平 治	
専 務 理 事	森 井 滄			
常 議 員	山 田 隣之助 北 岸 幸太郎 仙 波 玄 一	喜 多 良 三 村 田 信一郎 倉 垣 憲 一	二 橋 貞治郎 岡 崎 耕 平 小 梶 三 右衛門	前 川 捨 蔵
監 事	向 政五郎		重 森 文 二	
議 員	中 村 太 郎 西 沢 定 雄 青 山 善 平 久 保 謹 吾 小 沢 文 助 西 沢 久 治 村 田 梅 吉	松 本 政治郎 外 村 伊 八 福 井 八 右衛門 森 稔 端 俊 男 梅 原 康 三 三 浦 忠 蔵	志 賀 末 男 池 田 峯次郎 北 村 繁太郎 前 田 春 吉 松 元 卯兵衛 梅 辻 貞一郎 辻 川 敬 一	西 堀 栄治郎 小 島 弘太郎 高 木 市 治 櫛 村 貞 三 齊 藤 香 苗 川 村 金 一 菊 井 徳 三

第5期 役員・議員 (昭和41年10月1日～昭和44年9月30日)

会 頭	岡 崎 耕 平			
副 会 頭	二 橋 貞治郎		奥 村 晃一郎	
専 務 理 事	森 井 澁			
常 議 員	山 田 隣之助 北 岸 幸太郎	仙 波 玄 一 西 沢 定 雄	辻 川 敬 一 川 村 金 一	久 保 謹 吾 笹 井 太 一
監 事	向 政五郎		三 上 二三郎	
議 員	村 田 八 郎 喜 多 喜久子 木 村 豊 一 村 田 梅 吉 藤 井 幸 雄 北 村 繁太郎 村 田 信一郎	前 田 春 吉 藤 村 重 吉 内 片 陸 郎 福 原 憲 治 三 浦 忠 蔵 小 梶三右衛門 志 賀 末 男	松 本 政治郎 外 村 伊 八 小 沢 安 蔵 池 田 峯次郎 小 西 順市郎 海 外 貞 雄 斉 藤 香 苗	沢 田 健 一 松 元 卯兵衛 千 田 信 惇 辻 与惣二 前 川 捨 蔵 今 宿 市 郎

第6期 役員・議員 (昭和44年10月1日～昭和47年9月30日)

会 頭	岡 崎 耕 平			
副 会 頭	二 橋 貞治郎		奥 村 晃一郎	
専 務 理 事	北 村 繁太郎			
常 議 員	笹 井 太 一 北 川 脩 向 政五郎	前 川 恕 村 田 八 郎 北 岸 幸太郎	石 戸 慶次郎 西 沢 定 雄 村 田 信一郎	福 原 憲 治
監 事	鳥 塚 太 源		久 保 謹 吾	
議 員	藤 井 幸 雄 山 田 晴一郎 村 田 梅 吉 前 田 春 吉 堀 井 寅 蔵 西 川 平 助 西 田 藤 吉 長 野 重 衛	川 島 浩 司 小 沢 康 二 高 木 達 也 松 吉 郁 郎 渡 辺 福之助 楠 林 勘二郎 辻 川 禎 一 奥 出 栄 司	国 寄 喜代助 喜 多 喜久子 池 田 峯次郎 村 防 龍 雄 北 岸 正 次 辻 与惣二 今 宿 市 郎 木 村 豊 一	西 沢 久 治 山 田 隣之助 速 水 九 一 中 村 秀 敏 仙 波 玄 一

第7期 役員・議員 (昭和47年10月1日～昭和50年9月30日)

会 頭	二 橋 貞治郎											
副 会 頭	奥 村 晃一郎						渡 辺 福之助					
専 務 理 事	北 村 繁太郎											
常 議 員	笹 井 太 一			石 戸 慶次郎			福 原 憲 治			前 田 春 吉		
	村 田 八 郎			元 治 勝			沢 田 正 造					
	北 岸 幸太郎			長 野 重 衛			堀 井 寅 蔵					
監 事	久 保 謹 吾						西 田 藤 吉					
議 員	辻 川 敬 一			臼 井 善 勝			今 宿 三 郎			松 吉 勝 司		
	中 村 秀 敏			西 川 平 助			古 川 晴 一			松 村 篤之介		
	大 洞 巖			村 田 信一郎			回 淵 治 二			辻 与惣二		
	村 田 梅 吉			北 川 脩			吉 田 房 治			重 田 宗 平		
	小 島 修			山 田 晴一郎			佐 藤 源治郎			前 川 恕		
	西 村 建 司			森 稔			北 岸 正 次					
	村 防 龍 雄			深 尾 寅之助			木 村 豊 一					
	坂 口 実			楠 林 勘二郎			喜 多 喜久子					

第8期 役員・議員 (昭和50年10月1日～昭和53年9月30日)

会 頭	福 原 憲 治											
副 会 頭	渡 辺 福之助						重 田 宗 平					
専 務 理 事	阿 部 秀 二											
常 議 員	北 川 一 雄			村 田 志 郎			三 原 貞次郎			村 田 八 郎		
	堀 井 寅 蔵			前 川 恕			長 野 重 衛			深 尾 寅之助		
	笹 井 太 一			村 防 龍 雄			北 岸 正 次			小 嶋 外 夫		
	北 岸 幸太郎			北 川 脩			大 洞 巖			喜 多 俊 介		
監 事	久 保 謹 吾						山 田 晴一郎					
議 員	山 田 倅 造			中 村 秀 敏			奥 西 源 三			小 西 進		
	奥 村 章 三			西 沢 高 弘			田 芳 夫 平			野 今 貞 三		
	瀬戸口 義 彦			辻 辺 福之助			重 田 喜 内 蔵			小 野 鈴 村 喜 三		
	楠 本 謹 也			渡 二 橋 貞 一			畑 大 西 文 兵衛			広 回 中 沢 新 三		
	福 村 田 梅 吉			辻 川 敬 一			大 西 林 勘二郎					
	富 田 芳 雄			臼 井 善 勝			楠 小 川 信太郎					
	田 中 藤 三郎			加 前 田 春 吉								
	福 原 憲 治											

第9期 役員・議員 (昭和53年10月1日～昭和56年9月30日)

会 頭	福 原 憲 治																			
副 会 頭	久 保 謹 吾					前 川 恕														
専 務 理 事	阿 部 秀 二																			
常 議 員	北 居 孝	吉 岡 一	久 米 征	中 村 秀	喜 多 俊	渡 堀 村	辺 井 防	福 寅 龍	之 助 藏	助 藏 雄	二 北 小	橋 岸 嶋	貞 幸 外	雄 太 夫	深 中 楠	尾 沢 林	寅 新 勤	之 助 三 郎	助 三 郎	助 三 郎
監 事	山 田 晴 一 郎					西 田 芳 夫														
議 員	福 原 範 彦	広 田 健 一	藤 島 栄 七	林 根 卯 眞	岩 村 眞 一	向 川 悦 兵衛	西 司 松 豊	北 角 重 谷	岸 川 田 中	正 敬 宗 忠	次 三 平 雄	磯 富 北 宇	貝 田 川 野	武 芳 正 文	司 雄 脩 一 郎	畑 梅 今 野	辻 宿 田 村	喜 幸 三 貞	内 男 郎 夫	内 男 郎 夫

第10期 役員・議員 (昭和56年10月1日～昭和59年9月30日)

会 頭	福 原 憲 治																			
副 会 頭	渡 辺 福 之 助					二 橋 貞 雄														
専 務 理 事	阿 部 秀 二																			
常 議 員	前 田 春 吉	深 尾 寅 之 助	笹 井 太 一	小 堀 川 信 太 郎	堀 井 寅 藏	小 辻 奥 前 大	嶋 川 村 川 洞	外 敬 晃 一 郎	夫 一 郎 恕 巖	楠 北 久 中 小	林 岸 保 野 林	勘 正 謹 友 安	二 郎 次 吾 秋 雄	木 下 幸 男	木 佐 一 哲	森 森 喜 龍	村 防 喜 龍	實 二 三 彦 光 子	實 二 三 彦 光 子	實 二 三 彦 光 子
監 事	山 田 晴 一 郎					西 田 芳 夫														
議 員	西 磯 謝 宮 山 長 西 外 宇 田	沢 貝 川 田 野 川 村 野 中	高 武 征 明 悦 芳 正 藤	弘 司 亭 一 宏 寛 夫 夫 正 藤	古 松 小 藤 中 小 片 今 凶 竹	川 吉 林 原 原 澤 木 木 司 村	晴 宏 久 康 周 国 幸 哲 松 篤	一 治 雄 行 治 郎 一 男 衛 治	伊 大 西 山 奥 奥 村 今 野 岩	藤 西 沢 田 村 田 宿 田 根	善 文 喜 倅 章 和 眞 三 貞 卯	彦 藏 衛 造 三 男 郎 郎 夫 平	大 回 角 福 辻 藤	橋 瀧 川 原 田	治 敬 範 三 工 一	實 二 三 彦 光 子	實 二 三 彦 光 子	實 二 三 彦 光 子	實 二 三 彦 光 子	實 二 三 彦 光 子

第11期 役員・議員 (昭和59年10月1日～昭和62年9月30日)

会 頭	福 原 憲 治																
副 会 頭	渡 辺 福之助						二 橋 貞 雄										
専 務 理 事	阿 部 秀 二																
常 議 員	凶 深 笹 西 堀	司 尾 井 田 井	松 寅 太 芳 寅	兵 之 一 夫 蔵	衛 助 太 夫 蔵	角 辻 奥 前 大	川 村 川 洞	敬 晃 一 郎 恕 巖	三 一 郎 恕 巖	楠 山 久 山 西	林 田 保 本 沢	勘 晴 謹 正 高	二 郎 一 郎 吾 之 弘	亀 瀬 戸 口 利 義 喜	田 森 喜	男 彦 稔 造	
監 事	小 川 信 太 郎						小 林 安 雄										
議 員	宮 山 磯 小 村 謝 松 田 竹 向	川 田 貝 林 田 吉 中 中	征 明 武 久 志 勝 藤 三 敏	一 宏 司 雄 郎 亭 司 郎 弘 男		堤 堤 藤 古 村 苗 小 玉 奥 加	原 島 防 村 澤 水 藤	隆 宗 康 龍 国 小 和 喜	郎 三 行 実 雄 淳 太郎 男 和	前 中 中 喜 加 奥 山 奥 大 村	田 山 原 多 藤 村 田 野 野 田	春 周 良 博 章 倅 幾 唯 眞	吉 猛 治 道 之 三 造 郎 彦 一 郎	山 今 野 岩 大 回 大 生 福 稻	田 宿 田 根 橋 瀨 西 田 原 次	林 三 貞 卯 治 文 哲 範 良	市 郎 夫 平 實 二 蔵 一 彦 弘

第12期 役員・議員 (昭和62年10月1日～平成2年9月30日)

会 頭	渡 辺 福之助																
副 会 頭	奥 村 晃一郎						二 橋 貞 雄										
専 務 理 事	瀧 口 勇																
常 議 員	福 笹 森 久 前	原 井 保 川	憲 太 謹	治 一 稔 吾 恕		今 凶 西 大 深	宿 司 沢 洞 尾	三 松 高 寅	郎 兵 衛 弘 巖 之 助	中 田 瀬 戸 若 角	嶋 上 林 川	定 幸 義 隆 敬	彦 雄 彦 三 三	上 奥 山 奥 喜	松 田 村 多	萬 源 林 章 良	暎 三 郎 三 道
監 事	山 田 晴一郎						林 道 彦										
議 員	小 前 小 今 謝 田 堤 宮 外 磯	沢 田 林 宿 中 川 村 貝	善 春 久 市 豊 藤 隆 征 芳 武	之 夫 雄 郎 亭 郎 一 夫 司		古 中 山 苗 坂 小 中 松 堤	島 川 原 田 村 井 椋 山 吉	春 周 明 吉 昭 勝 宗 三 郎	実 男 治 宏 淳 雄 治 猛 司 郎	岡 加 中 凶 川 村 高 山 村 大	崎 藤 島 司 合 防 島 田 野	喜 信 健 龍 忠 倅 眞 唯	一 和 敏 行 治 雄 司 造 郎 彦	楠 古 岩 野 大 富 回 河 稻 松	林 川 根 田 橋 田 瀨 崎 次 田	勤 晴 卯 貞 治 信 良	二 郎 一 平 夫 實 進 二 男 弘 悟

第13期 役員・議員 (平成2年10月1日～平成5年9月30日)

会 頭	渡 辺 福之助															
副 会 頭	奥 村 晃一郎			二 橋 貞 雄												
専 務 理 事	瀧 口 勇															
常 議 員	福大森久林	原橋保健	憲 謹健	治實稔吾三	前川今西凶	川合宿沢司	健三高松兵衛	恕治郎弘衛	山川佐若奥	田嶋藤林	晴一郎一三三	八建隆源	角今喜村古	川宿多防川	敬市良龍晴	三郎道雄一
監 事	奥 村 章 三			久 保 健 吾												
議 員	加小深田謝重堤宮大山	藤沢田中森川洞田	昌善之助	平助治彦亭良郎一造	森中中稲村小福岡加中	川村原次田椋島崎藤島	文弥周良順昭泰喜	三一郎治弘司治蔵一和敏	藤西重高田村小岩野吉	井村森畠中田林根田川	信義忠藤眞久卯貞絢次郎	進夫彦司郎雄平夫次郎	外磯回山赤藤川松	村貝淵川堀本嶋田	芳武治武長之	夫司二二肇蔵生悟

第14期 役員・議員 (平成5年10月1日～平成8年9月30日)

会 頭	渡 辺 福之助															
副 会 頭	奥 村 晃一郎			二 橋 貞 雄												
専 務 理 事	瀧 口 勇															
常 議 員	今今大奥喜	宿宿橋村多	市三郎實三道	郎 實 三 道	凶角深西前	司川田沢川	松敬正高	兵衛三治弘恕	回村村野山	淵防田田田	治龍眞貞晴一	二雄一郎夫郎	宇津木次下	正良健幸義	久弘三男也	
監 事	重 田 宗 平			松 永 厚 生												
議 員	今大岡奥加河久熊小重	宿洞崎藤村保木中森	修共源喜尚謹洋儀三	三一三和昭吾一隆良	謝田堤中西福古宮森	中村原川島川川	豐敏隆弥周平泰晴征文三良	亭彦郎治助蔵一一良	山山山宮重足池川高田	川川田川森出田合畠中	和武倭俊義廣謙健忠藤三	男二造男彦幸一治司郎	小足藤外磯松谷佐村	林田村村貝木口藤山	久忠洋芳武真敏健康	雄夫二夫司一勝一治

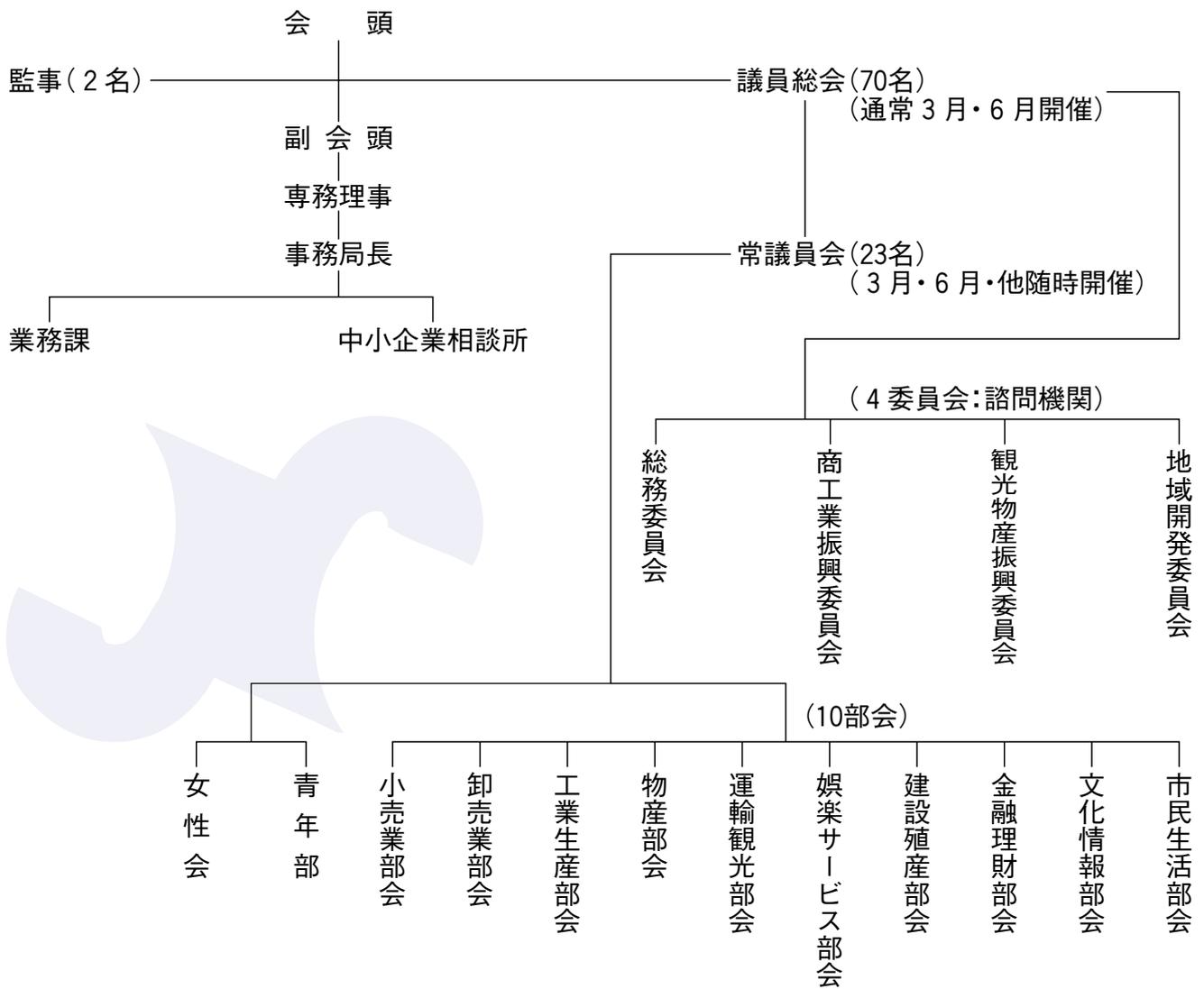
第17期 役員・議員 (平成13年11月1日～平成16年10月31日)

会 頭	今 宿 市 郎
副 会 頭	熊 木 洋 一 田 中 敏 彦
専 務 理 事	西 村 良 三
常 議 員	池 磯 井 加 大 岡 田 貝 上 藤 橋 田 卓 武 則 雄 也 司 男 之 實 晶 奥 重 重 凶 辰 田 村 田 森 司 巳 中 章 三 松 育 祥 三 稔 良 衛 男 二 堤 富 中 西 平 中 田 川 田 元 嶋 隆 正 治 清 忠 郎 敏 雄 正 志 治 藤 辻 山 山 渡 田 田 田 辺 工 嘉 倅 利 一 子 秀 造 治 郎
監 事	大 西 和 彦 小 澤 善 之 助
議 員	石 石 今 今 奥 長 長 喜 熊 高 田 德 原 橋 宿 宿 田 田 多 木 村 中 永 正 市 修 哲 敬 良 洋 敏 信 文 浩 郎 三 司 亮 夫 道 一 潔 彦 子 富 中 西 野 深 藤 藤 本 松 村 山 山 田 沢 沢 矢 尾 野 原 間 下 田 川 田 智 高 善 俊 道 康 林 澄 武 藤 進 子 弘 章 幸 春 行 蔵 功 昭 二 雄 回 田 畑 速 南 小 藤 岩 岩 大 向 野 淵 中 水 井 林 田 崎 嶋 洞 田 和 藤 喜 次 秀 弘 定 益 共 茂 芳 治 郎 秋 郎 樹 和 嗣 繁 明 一 夫 朗 上 光 岸 畑 本 奥 口 竹 角 庄 西 田 田 田 多 津 石 崎 田 田 村 善 一 多 伊 良 勝 泰 勝 郎 博 男 男 雄 啓 雄 介 誠 浩 昇

第18期 役員・議員 (平成16年11月1日～)

会 頭	今 宿 市 郎
副 会 頭	熊 木 洋 一 田 中 敏 彦
専 務 理 事	西 村 良 三
常 議 員	磯 岩 大 岡 奥 北 貝 嶋 西 田 村 川 武 益 和 章 鉄 司 明 彦 晶 三 樹 木 中 重 凶 辰 堤 村 村 森 司 巳 雅 光 三 松 育 隆 洋 男 良 衛 男 郎 富 中 西 畑 藤 回 田 川 田 田 淵 正 治 喜 工 和 敏 雄 正 秋 子 治 光 山 山 由 渡 田 田 田 良 辺 倅 利 一 博 造 治 清 郎
監 事	大 橋 實 藤 田 勝
議 員	相 石 今 岩 上 大 村 長 籠 喜 金 小 宮 橋 宿 崎 原 洞 北 田 谷 多 泉 青 幸 平 共 正 敬 良 英 英 一 浩 男 繁 郎 一 一 夫 昇 道 信 二 小 小 重 庄 鈴 角 高 竹 竹 大 田 丹 嶋 林 田 田 木 田 村 崎 中 谷 中 部 太 弘 勝 義 泰 聡 定 一 郎 和 稔 浩 勝 誠 潔 介 雄 治 亨 三 寺 寺 土 德 中 西 西 西 石 野 野 林 田 村 井 永 沢 沢 野 原 丸 田 矢 寺 義 義 信 信 智 高 正 三 芳 善 和 和 幸 子 子 弘 芳 弥 洋 朗 章 篤 速 深 藤 本 松 松 南 向 向 山 若 水 尾 野 間 山 山 井 本 吉 次 俊 道 林 辰 孝 秀 茂 真 郎 幸 春 蔵 夫 司 樹 夫 史 浩 晃

八日市商工会議所の組織



事務局職員

(平成17年12月現在)

商工会議所とは…

商工会議所は、みなさんの世論を代表する公的な性格をもつ法人です。

商工会議所は、地域の商工業者の世論を代表し、商工業の振興に力を注いで、国民経済の健全な発展に寄与するための地域総合経済団体です。したがって、商工会議所の活動には、大企業も中小企業も、みんな力を合わせて、都市を住みよく、働きやすいところにとしようとする念願がこめられています。

商工会議所の主な事業



機関誌「八日市商工会議所報」



講演会「個人情報保護対策セミナー」

■ 意見活動

金融・税制・交通・労働・教育等の改善や地域開発などについて会員の意見を取りまとめ、国・県・市など関係機関に要望、陳情して問題の解決を図っています。

■ 情報提供

商工業に関する調査研究の結果や、経営改善の参考資料、その他必要な情報を機関紙「八日市商工会議所報」で会員にもれなく提供しています。

■ 相談サービス

金融・税務・経営・労務・商取引等の相談業務のほか「経営安定特別相談室」を設け、倒産防止等の相談業務を行っております。

■ 指導事業

会員の要望に応じ講演会・講習会・見学会を開催するほか、中小企業経営の近代化、専門化、協業化の推進や従業員の教育訓練などを行っています。

■ 共済制度

会員並びに従業員の福祉の向上のため、各種共済制度を実施しています。

■ 労働保険事務代行

忙しい小規模企業の事業主に代わって、労働保険の事務を代行しております。

■ 技術及び検定

商工業に関する技術、技能の普及につとめ、珠算・簿記・日本語文書処理技能・福祉住環境コーディネーター・ビジネス実務法・パソコン・販売士等の検定試験を実施しています。

■ 地域商業の振興活動

地域商業の振興と調和ある発展及び商店街、商業集積の整備を中心としたまちづくりの促進を図り、併せて大型店出店に関する業務の円滑な実施を図ることに協力します。

■ 人権教育の推進

行政機関とタイアップして人権教育の推進につとめています。

■ 優良従業員表彰

会員事業所の従業員を対象に、勤労意欲の向上と従業員の定着を目的に毎年実施しています。

■ 証明事業

原産地証明など各種貿易関係証明事務を行っています。



「地震対策フォーラム」



「永年勤続表彰式」



「新年互礼会」



安心安全の商い研修



池田温泉視察研修



陶芸教室

■ 部会・委員会活動

会員事業所が営んでいる主な業種別に「部会」が置かれており、会員はそのいずれかに所属します。部会活動は、商工会議所活動の基盤となり、企業の発展・改善を図るほか、講演会・先進地視察・情報交換などの事業を実施しています。現在では、10の部会が活発な活動をしています。ほかの業種・業態との交流でネットワークが広がります。また、経済や地域の問題に取り組むため、4つの委員を設置しております。

各部会主な事業活動

●小売業部会

部会員のメールアドレス収集

●卸売業部会

安心安全の商い研修

●物産部会

陶芸教室

●工業生産部会

びわこ環境ビジネスメッセ視察研修

●運輸・観光部会

池田温泉視察研修

●娯楽・サービス部会

多羅尾の湯視察研修

●建設・殖産部会

地震対策フォーラム

●金融・理財部会

親睦ゴルフコンペ

●文化情報部会

インターネット体験講習

●市民生活部会

地震対策フォーラム

■ 青年部活動

平成2年3月24日設立、会員数64名（平成17年度現在）

会員一人ひとりが楽しみながら資質向上が出来、『毎日の仕事や生活に活かせる』セミナーや事業、地域社会・経済に貢献できる活動を行い、大きなフィールドで青年部をアピールできるような独自事業の開催に積極的に取り組み、蓄積されたネットワークやノウハウを十分に活用した地域貢献活動を行っています。また他地域団体との親睦を深め地域経済の起爆剤となりうる様な組織造りに努めています。

平成17年度には合併により行政エリアが広くなり、それに併せて青年部事業の対外的な「顔」づくりを目指して新しい事業を行いました。（平成17年度East Rainbow☆事業）

■ 女性会活動

女性会は平成7年5月15日に設立し、現在会員数32名（平成17年度現在）で活動しています。県下の7商工会議所女性会をはじめ、近畿・全国の商工会議所女性会員とふれあう機会もあり、視察研修や地元行事への参加、緑化活動等、幅広い分野を通して、自己研鑽に励んでいます。



女性会「八日市商工会議所玄関前緑化活動」



青年部「East Rainbow☆」



青年部「通常総会」



女性会「大空と遊ぼうヨ!フェスタ」参加



女性会「創立10周年記念祝賀会」

会館案内



会議室 (3F)



大ホール (4F)



第2研修室 (3F)



事務所 (2F)



特別会議室 (2F)



企業懇談室 (1F)



大会議室 (1F)



インフォメーションホール (1F)



カフェテリア (1F)

あ と が き

八日市商工会議所設立50周年記念事業の一環として、記念誌を発刊いたしました。今日までの足跡と50周年を迎えられたことへの感謝の意を忘れることなく、しっかりと前を見据え、新たな未来を創造していく思いを込めて取り纏めました。

編集にあたり、東近江市をはじめ各種資料のご提供をいただきました関係各位のご協力と、ご尽力いただきました多くの方々に厚く御礼申し上げます。

この記念誌が皆様にご活用いただければ幸いに存じます。

八日市商工会議所 設立50周年記念誌発行小委員会委員

(順不同・敬称略)

委員長 磯貝武司 太平楼
副委員長 竹中聡雄 (株)ラブリーシステムイン
委員 小杉 充 (有)電腦自由亭
高木一正 中日新聞 八日市専売所 高木新聞店
中沢智子 名神土地開発(株)
回瀬和治 (株)花治
向 真史 (有)向菊商店

八日市商工会議所 設立50周年記念誌

みちのり
2006

発行日・平成18年3月

発行・八日市商工会議所

〒527-0021 滋賀県東近江市八日市東浜町1-5

TEL 0748-22-0186 FAX 0748-22-0188

<http://www.bcap.co.jp/odakocci>

印刷・滋賀高速印刷株式会社



The Yokaichi Chamber of Commerce & Industry